

【表紙】

【提出書類】	訂正有価証券届出書
【提出先】	関東財務局長殿
【提出日】	平成29年9月12日提出
【発行者名】	野村アセットマネジメント株式会社
【代表者の役職氏名】	C E O兼執行役社長 渡邊 国夫
【本店の所在の場所】	東京都中央区日本橋一丁目12番1号
【事務連絡者氏名】	松井 秀仁
【電話番号】	03-3241-9511
【届出の対象とした募集（売出）内国投資信託受益証券に係るファンドの名称】	野村ワールドリート通貨選択型ファンド（円コース） 野村ワールドリート通貨選択型ファンド（米ドルコース） 野村ワールドリート通貨選択型ファンド（豪ドルコース） 野村ワールドリート通貨選択型ファンド（ブラジル・リアルコース）
【届出の対象とした募集（売出）内国投資信託受益証券の金額】	継続募集額(平成29年3月15日から平成30年3月13日まで) 野村ワールドリート通貨選択型ファンド（円コース） 1兆円を上限とします。 野村ワールドリート通貨選択型ファンド（米ドルコース） 1兆円を上限とします。 野村ワールドリート通貨選択型ファンド（豪ドルコース） 1兆円を上限とします。 野村ワールドリート通貨選択型ファンド（ブラジル・リアルコース） 1兆円を上限とします。
【縦覧に供する場所】	該当事項はありません。

1【有価証券届出書の訂正届出書の提出理由】

本日、有価証券報告書を提出いたしましたので、平成29年 3月14日付をもって提出した有価証券届出書（以下「原届出書」といいます。）の関係情報を更新するため、また、記載事項の一部に訂正事項がありますのでこれを訂正するため本訂正届出書を提出するものです。

2【訂正の内容】

原届出書の下記の記載事項につきましては内容を更新・訂正いたします。

第二部ファンド情報 第1ファンドの状況 5運用状況

第二部ファンド情報 第3ファンドの経理状況

また、それ以外の訂正事項につきましては、＜訂正前＞および＜訂正後＞に記載している下線部__は訂正部分を示し、＜更新後＞の記載事項は原届出書の更新後の内容を示します。

第二部【ファンド情報】

第1【ファンドの状況】

1 ファンドの性格

(3) ファンドの仕組み

<更新後>

委託会社の概況(平成29年7月末現在)

・名称

野村アセットマネジメント株式会社

・本店の所在の場所

東京都中央区日本橋一丁目12番1号

・資本金の額

17,180百万円

・会社の沿革

昭和34年(1959年)12月1日 野村證券投資信託委託株式会社として設立

平成9年(1997年)10月1日 投資顧問会社である野村投資顧問株式会社と合併して野村アセット・マネジメント投信株式会社に商号を変更

平成12年(2000年)11月1日 野村アセットマネジメント株式会社に商号を変更

平成15年(2003年)6月27日 委員会等設置会社へ移行

・大株主の状況

名称	住所	所有株式数	比率
野村ホールディングス株式会社	東京都中央区日本橋一丁目9番1号	5,150,693株	100%

2 投資方針

(2) 投資対象

<更新後>

世界各国の金融商品取引所に上場(これに準ずるものを含みます。以下同じ。)されているREIT(不動産投資信託証券)を実質的な主要投資対象とします。

各ファンドは、各々以下の円建ての外国投資信託および日本円の短期金利の獲得を安定的に目指す別に定める投資信託証券^{*}(「指定投資信託証券」といいます。)を主要投資対象とします。なお、各ファンドは、コマーシャル・ペーパー等の短期有価証券ならびに短期金融商品等に直接投資する場合があります。

^{*}後述の「(参考)指定投資信託証券について」をご参照ください。

ファンド名	投資対象
円コース	ノムラ・カレンシー・ファンド - ワールド・リート・ファンド - クラスJPY
	野村マネーインベストメント マザーファンド
	ノムラ・カレンシー・ファンド - ワールド・リート・ファンド - クラスUSD

米ドルコース	野村マネーインベストメント マザーファンド
豪ドルコース	ノムラ・カレンシー・ファンド - ワールド・リート・ファンド - クラスAUD
	野村マネーインベストメント マザーファンド
ブラジル・リアルコース	ノムラ・カレンシー・ファンド - ワールド・リート・ファンド - クラスBRL
	野村マネーインベストメント マザーファンド

デリバティブの直接利用は行ないません。

<「ノムラ・カレンシー・ファンド - ワールド・リート・ファンド - クラスJPY / クラスUSD / クラスAUD / クラスBRL」の主要投資対象>

世界各国の金融商品取引所に上場されているREITを主要投資対象とします。

デリバティブの利用は、ヘッジ目的に限定しません。

詳しくは「(参考)投資対象とする外国投資信託の概要」をご覧ください。

投資の対象とする資産の種類(約款第15条)

この信託において投資の対象とする資産(本邦通貨表示のものに限ります。)の種類は、次に掲げるものとします。

1.次に掲げる特定資産(「特定資産」とは、投資信託及び投資法人に関する法律第2条第1項で定めるものをいいます。以下同じ。)

イ.有価証券

ロ.約束手形(イに掲げるものに該当するものを除きます。)

ハ.金銭債権(イ及びロに掲げるものに該当するものを除きます。)

2.次に掲げる特定資産以外の資産

イ.為替手形

有価証券の指図範囲(約款第16条第1項)

委託者は、信託金を、円建ての外国投資信託であるノムラ・カレンシー・ファンド - ワールド・リート・ファンド - (1)受益証券および別に定める投資信託証券²のほか、次の有価証券(金融商品取引法第2条第2項の規定により有価証券とみなされる同項各号に掲げる権利を除くものとし、本邦通貨表示のものに限ります。)に投資することを指図します。

1.コマーシャル・ペーパーおよび短期社債等

2.外国または外国の者の発行する証券または証書で、前号の証券の性質を有するもの

3.国債証券、地方債証券、特別の法律により法人の発行する債券および社債券(新株引受権証券と社債券とが一体となった新株引受権付社債券の新株引受権証券および短期社債等を除きます。)

4.指定金銭信託の受益証券(金融商品取引法第2条第1項第14号で定める受益証券発行信託の受益証券に限ります。)

なお、第3号の証券を以下「公社債」といい、公社債にかかる運用の指図は買い現先取引(売戻し条件付の買い入れ)および債券貸借取引(現金担保付き債券借入れ)に限り行なうことができるものとします。

(注)上記(1)印となっている箇所は、コース毎に下記のようにそれぞれあてはめてご覧ください。

円コース	米ドルコース	豪ドルコース	ブラジル・リアルコース
クラスJPY	クラスUSD	クラスAUD	クラスBRL

上記 2については、後述の「(参考)指定投資信託証券について」をご参照ください。

金融商品の指図範囲(約款第16条第2項)

委託者は、信託金を、上記 に掲げる有価証券のほか、次に掲げる金融商品(金融商品取引法第2条第2

項の規定により有価証券とみなされる同項各号に掲げる権利を含みます。)により運用することを指図することができます。

1. 預金
2. 指定金銭信託(上記「(2)投資対象 当該ファンドの 有価証券の指図範囲」に掲げるものを除く。)
3. コール・ローン
4. 手形割引市場において売買される手形

ファンドは、以下に示す投資信託証券を主要投資対象とします。

平成29年 9月12日現在、委託会社の知りうる情報を基に記載した指定投資信託証券の概要です。

ファンド名	野村マネーインベストメント マザーファンド
委託会社	野村アセットマネジメント株式会社
主要投資対象	円建ての短期有価証券

指定投資信託証券は適宜見直しを行いません。この際、指定投資信託証券として指定されていた投資信託証券が指定から外れたり、新たに主として有価証券に投資する投資信託証券(ファンド設定時以降に設定された投資信託の受益証券も含みます。)が指定投資信託証券として指定される場合があります。

今後、投資信託証券の委託会社(運用会社)の都合等により、記載の内容が変更となる場合があります。

(参考)投資対象とする外国投資信託の概要

ノムラ・カレンシー・ファンド - ワールド・リート・ファンド

(クラスJPY / クラスUSD / クラスAUD / クラスBRL) (ケイマン諸島籍円建外国投資信託)

<運用の基本方針>	
主要投資対象	世界各国の金融商品取引所に上場されているREIT
投資方針	<ul style="list-style-type: none"> ・ 世界各国の金融商品取引所に上場されているREITを主要投資対象とし、高水準の配当収益の確保と中長期的な値上がり益の獲得を目指して積極的な運用を行なうことを基本とします。 ・ REITの組入比率は原則として高位を維持することを基本とします。ただし、信託財産の純資産総額の10%以内の範囲で、世界各国の不動産関連の株式に投資する場合があります。 ・ マクロ経済動向調査、資本市場分析、不動産市場のファンダメンタルズ分析等を活用し、国別配分、セクター配分を決定します。 ・ 銘柄の選定にあたっては、キャッシュフロー利回り、キャッシュフロー成長率、資本構造、市場価格対比での純資産価値等の定量的要素に加え、経営戦略等の定性的要素を総合的に勘案します。 ・ 米ドル建以外の資産に投資を行なった場合は、原則として当該資産にかかる通貨を売り、米ドルを買う為替取引を行ないません。 <p>ファンドには4つのクラス(クラスJPY / クラスUSD / クラスAUD / クラスBRL)があり、クラスUSD以外は、クラスごとに、組入資産について、原則として、米ドルを売り、各クラスの通貨を買う為替取引を行なうことで、各通貨への投資効果を追求します。クラスUSDについては、対円で為替ヘッジを行わず、米ドルへの投資効果を追求します。</p>

主な投資制限	<ul style="list-style-type: none"> ・株式への投資割合は、ファンドの純資産総額の10%以内とします。 ・同一銘柄の株式への投資割合は、取得時においてファンドの純資産総額の5%以内とします。 ・投資信託証券(上場投資信託証券を除く。)への投資割合は、ファンドの純資産総額の5%以内とします。 ・同一銘柄の上場投資信託証券への投資割合は、ファンドの純資産総額の30%以内とします。 ・デリバティブの利用は、ヘッジ目的に限定しません。
収益分配方針	毎月、投資顧問会社と協議の上、受託会社の判断により、分配を行なう方針です。
償還条項	当初設定日(平成23年3月14日)より3年経過後において、全クラスの合計の純資産残高が50億円を下回った場合にはファンドを、各クラスの純資産残高が50億円を下回った場合には当該クラスを、それぞれ償還する場合があります。
< 主な関係法人 >	
受託会社	グローバル・ファンズ・トラスト・カンパニー
投資顧問会社	野村アセットマネジメント株式会社
副投資顧問会社	シービーアールイー・クラリオン・セキュリティーズ・エルエルシー
管理事務代行会社 保管銀行	ノムラ・バンク(ルクセンブルグ)エス・エー
< 管理報酬等 >	
信託報酬	純資産総額の0.68%(年率)
申込手数料	なし
信託財産留保額	1口につき純資産価格の0.3%(当初1口=1万円)
その他の費用	信託財産に関する租税、組入有価証券の売買時の売買委託手数料、信託事務の処理に要する費用および信託財産の監査に要する費用、外貨建資産の保管などに要する費用、借入金の利息および立替金の利息など。 ファンドの設立に係る費用(3年を超えない期間にわたり償却)。
< 運用体制 > シービーアールイー・クラリオン・セキュリティーズ・エルエルシー運用チームは、ポートフォリオ・マネジメント・チーム、各地域および国別・セクター別の担当アナリスト・チーム、不動産市場調査・戦略担当チーム、トレーディング・チーム、ポートフォリオ分析チームから構成されています。REIT市場の国・地域および米国においてはセクター毎に担当を配置し、各ローカル不動産市場のボトムアップ調査をグローバルに行なうことを実現しています。国・地域別リサーチに加え、独自の相対評価モデルに基づく個別銘柄分析を組み合わせた運用プロセスを採用しています。	

上記のほか、一般社団法人投資信託協会の定めるファンド・オブ・ファンズ組入投資信託および投資法人の要件を満たしております。

(参考)指定投資信託証券について

「野村マネーインベストメント マザーファンド」

運用の基本方針

約款第14条に基づき委託者の定める方針は、次のものとします。

1. 基本方針

この投資信託は、安定した収益と流動性の確保を図ることを目的として運用を行ないます。

2. 運用方法

(1) 投資対象

本邦通貨表示の短期有価証券を主要投資対象とします。

(2) 投資態度

本邦通貨表示の公社債等に投資を行ない、安定した収益と流動性の確保を図ることを目的として運用を行ないます。

残存期間の短い公社債やコマーシャル・ペーパー等の短期有価証券への投資により利息等収益の確保を図り、あわせてコール・ローンなどで運用を行なうことで流動性の確保を図

ります。

資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。

(3)投資制限

株式への投資は行ないません。

外貨建資産への投資は行ないません。

有価証券先物取引等は約款第15条の範囲で行ないます。

スワップ取引は約款第16条の範囲で行ないます。

一般社団法人投資信託協会規則に定める合理的な方法により算出した額が、信託財産の純資産総額を超えることとなるデリバティブ取引等（同規則に定めるデリバティブ取引等をいいます。）の利用は行ないません。

一般社団法人投資信託協会規則に定める一の者に対する株式等エクスポージャー、債券等エクスポージャーおよびデリバティブ等エクスポージャーの信託財産の純資産総額に対する比率は、原則としてそれぞれ10%、合計で20%以内とすることとし、当該比率を超えることとなった場合には、同規則に従い当該比率以内となるよう調整を行なうこととします。

3 投資リスク

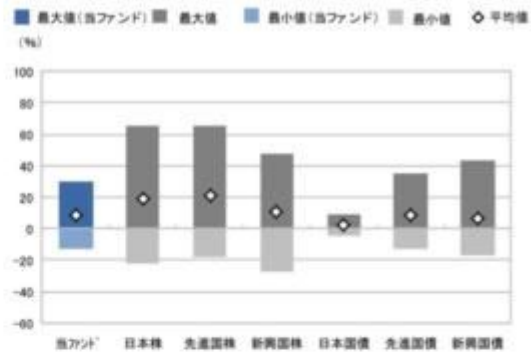
< 更新後 >

リスクの定量的比較

(2012年8月末～2017年7月末:月次)

〈ファンドの年間騰落率および分配金再投資基準価額の推移〉 〈ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較〉

●円コース

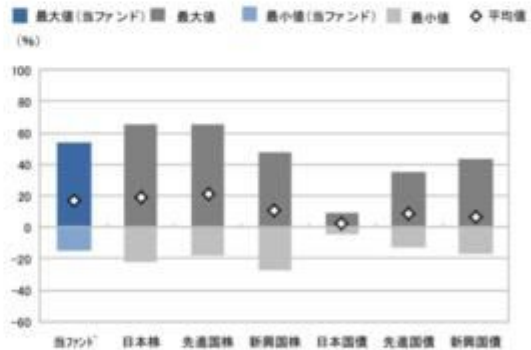


	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値(%)	30.4	65.0	65.7	47.4	9.3	34.9	43.7
最小値(%)	△ 12.3	△ 22.0	△ 17.5	△ 27.4	△ 4.0	△ 12.3	△ 17.4
平均値(%)	8.5	18.6	20.8	10.8	2.6	9.1	6.5

- ＊分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したものです。2012年8月末を10,000として指数化しております。
- ＊年間騰落率は、2012年8月から2017年7月の5年間の各月末における1年間の騰落率を表示したものです。

- ＊全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
- ＊2012年8月から2017年7月の5年間の各月末における1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。
- ＊決算日に対応した数値とは異なります。
- ＊当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

●米ドルコース



	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値(%)	54.0	65.0	65.7	47.4	9.3	34.9	43.7
最小値(%)	△ 14.5	△ 22.0	△ 17.5	△ 27.4	△ 4.0	△ 12.3	△ 17.4
平均値(%)	17.0	18.6	20.8	10.8	2.6	9.1	6.5

- ＊分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したものです。2012年8月末を10,000として指数化しております。
- ＊年間騰落率は、2012年8月から2017年7月の5年間の各月末における1年間の騰落率を表示したものです。

- ＊全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
- ＊2012年8月から2017年7月の5年間の各月末における1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。
- ＊決算日に対応した数値とは異なります。
- ＊当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

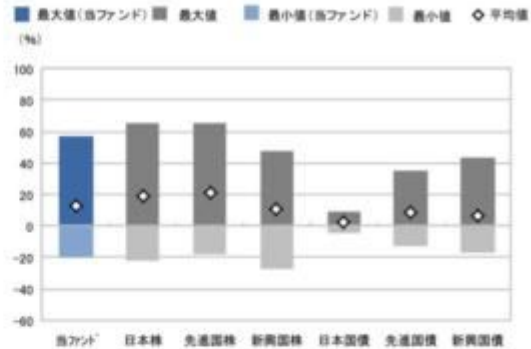
〈ファンドの年間騰落率および分配金再投資基準価額の推移〉

〈ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較〉

●豪ドルコース



- * 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したものです。2012年8月末を10,000として指数化しております。
- * 年間騰落率は、2012年8月から2017年7月の5年間の各月末における1年間の騰落率を表示したものです。



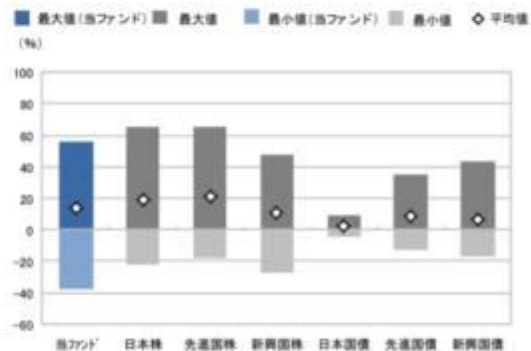
	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値(%)	56.6	65.0	65.7	47.4	9.3	34.9	43.7
最小値(%)	△20.1	△22.0	△17.5	△27.4	△4.0	△12.3	△17.4
平均値(%)	12.4	18.6	20.8	10.8	2.6	9.1	6.5

- * 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
- * 2012年8月から2017年7月の5年間の各月末における1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。
- * 決算日に対応した数値とは異なります。
- * 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

●ブラジル・リアルコース



- * 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したものです。2012年8月末を10,000として指数化しております。
- * 年間騰落率は、2012年8月から2017年7月の5年間の各月末における1年間の騰落率を表示したものです。



	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値(%)	56.4	65.0	65.7	47.4	9.3	34.9	43.7
最小値(%)	△38.1	△22.0	△17.5	△27.4	△4.0	△12.3	△17.4
平均値(%)	14.1	18.6	20.8	10.8	2.6	9.1	6.5

- * 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
- * 2012年8月から2017年7月の5年間の各月末における1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。
- * 決算日に対応した数値とは異なります。
- * 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

※分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算しており、実際の基準価額と異なる場合があります。

<p><代表的な資産クラスの指数></p> <ul style="list-style-type: none"> ○日本株：東証株価指数(TOPIX)(配当込み) ○先進国株：MSCI-KOKUSAI指数(配当込み、円ベース) ○新興国株：MSCIエマージング・マーケット・インデックス(配当込み、円ベース) ○日本国債：NOMURA-BPI国債 ○先進国債：シティ世界国債インデックス(除く日本、ヘッジなし・円ベース) ○新興国債：JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックスーエマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド(円ベース)
<p>■代表的な資産クラスの指数の著作権等について■</p> <p>○東証株価指数(TOPIX)(配当込み)・・・東証株価指数(TOPIX)(配当込み)は、株式会社東京証券取引所(株東京証券取引所)の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利は、株東京証券取引所が有しています。なお、本商品は、株東京証券取引所により提供、保証又は販売されるものではなく、株東京証券取引所は、ファンドの発行又は売買に起因するいかなる損害に対しても、責任を負いません。</p> <p>○MSCI-KOKUSAI指数(配当込み、円ベース)、MSCIエマージング・マーケット・インデックス(配当込み、円ベース)・・・MSCI-KOKUSAI指数(配当込み、円ベース)、MSCIエマージング・マーケット・インデックス(配当込み、円ベース)は、MSCIが開発した指数です。同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCIに帰属します。またMSCIは、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。</p> <p>○NOMURA-BPI国債・・・NOMURA-BPI国債の知的財産権は、野村證券株式会社に帰属します。なお、野村證券株式会社は、NOMURA-BPI国債の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、NOMURA-BPI国債を用いて行われる野村アセットマネジメント株式会社の事業活動、サービスに関し一切責任を負いません。</p> <p>○シティ世界国債インデックス(除く日本、ヘッジなし・円ベース)・・・シティ世界国債インデックス(除く日本、ヘッジなし・円ベース)は、Citigroup Index LLCが開発した日本を除く世界主要国の国債の総合投資収益を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスで、Citigroup Index LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利は、Citigroup Index LLCが有しています。</p> <p>○JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックスーエマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド(円ベース)・・・「JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックスーエマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド(円ベース)」(ここでは「指数」とよびます)についてここに提供された情報は、指数のレベルも含め、但しそれに限定することなく、情報としてのみ使用されるものであり、金融商品の売買を勧誘、何らかの売買の公式なコンファメーション、或いは指数に関連する何らかの商品の価格や値段を決めるものでもありません。また、投資戦略や税金における会計アドバイスを法的に推奨するものでもありません。ここに含まれる市場価格、データ、その他の情報は種々なものと考えられますが、JPMorgan Chase & Co. 及びその子会社(以下、JPM)はその完全性や正確性を保証するものではありません。含まれる情報は通知なしに変更されることがあります。過去のパフォーマンスは将来のリターンを示唆するものではありません。本資料に含まれる発行体の金融商品について、JPMやその従業員がロング・ショート両方を含めてポジションを持ったり、売買を行ったり、またはマーケットメイクを行ったりすることがあり、また、発行体の引受人、プレースメント・エージェンシー、アドバイザー、または貸主になっている可能性もあります。米国のJ.P. Morgan Securities LLC(ここでは「JPMSLLC」と呼びます)(「指数スポンサー」)は、指数に関する証券、金融商品または取引(ここでは「プロダクト」と呼びます)についての勧助、保障または販売促進を行いません。証券或いは金融商品全般、或いは特にプロダクトへの投資の推奨について、また金融市場における投資機会を指数に連動させる或いはそれを目的とする推奨の可否について、指数スポンサーは一切の表明または保証、或いは伝達または示唆を行なうものではありません。指数スポンサーはプロダクトについての管理、マーケティング、トレーディングに関する義務または法的責任を負いません。指数は信用できると考えられる情報によって算出されていますが、その完全性や正確性、また指数に付随する情報について保証するものではありません。指数は指数スポンサーが保有する財産であり、その財産権はすべて指数スポンサーに帰属します。JPMSLLCはNASDAQ, NYSE, SIPCの会員です。JPMorganはJP Morgan Chase Bank, NA, JPSE, J.P. Morgan Securities PLC.、またはその関係会社が投資銀行業務を行う際に使用する名称です。</p>

(出所：株式会社野村総合研究所、Citigroup Index LLC 他)

4 手数料等及び税金

(3) 信託報酬等

<更新後>

信託報酬の総額は、ファンドの計算期間を通じて毎日、ファンドの純資産総額に年1.0476%(税抜年0.97%)の率(「信託報酬率」といいます。)を乗じて得た額とします。信託報酬は、毎計算期末または信託終了のときファンドから支払われます。

信託報酬率の配分については次の通り(税抜)とします。

<委託会社>	<販売会社>	<受託会社>
年0.44%	年0.50%	年0.03%

なお、この他にファンドが投資対象とする外国投資信託に関しても信託報酬等がかかります。

(参考)投資対象とする外国投資信託の信託報酬

外国投資信託の名称	信託報酬率 (年率)
ノムラ・カレンシー・ファンド - ワールド・リート・ファンド	0.68%

上記の他、信託財産に関する租税、組入有価証券の売買時の売買委託手数料、信託事務の処理に要する費用および信託財産の監査に要する費用、外貨建資産の保管などに要する費用、借入金の利息および立替金の利息などを負担する場合があります。また、外国投資信託の設立に係る費用は当該外国投資信託が負担し、3年を超えない期間にわたり償却します。なお、申込手数料はかかりません。

ファンドの信託報酬にファンドが投資対象とする外国投資信託の信託報酬を加えた、受益者が実質的に負担する信託報酬率について、通常の場合においては「ノムラ・カレンシー・ファンド - ワールド・

リート・ファンド」の各々のクラス受益証券への投資比率は、概ね90%以上を目処としますので、概算値は以下の通りです。ただし、この値はあくまでも実質的な信託報酬の目安であり、ファンドの実際の投資信託証券の組入れ状況によっては、実質的な信託報酬は変動します。

実質的な負担 [*]
年1.7276%程度(税込)

*ファンドが投資対象とする投資信託証券の信託報酬を加味して、投資者が実質的に負担する信託報酬率について算出したものです。なお、ファンドが実質的な投資対象とするREITは市場の需給により価格形成されるため、その費用は表示しておりません。

支払先の役務の内容

＜委託会社＞	＜販売会社＞	＜受託会社＞
ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等

(5) 課税上の取扱い

<更新後>

課税上は、株式投資信託として取扱われます。

個人、法人別の課税について

個人の投資家に対する課税

<収益分配金に対する課税>

分配金のうち課税扱いとなる普通分配金については、20.315%(国税(所得税及び復興特別所得税)15.315%および地方税5%)の税率による源泉徴収が行なわれます。なお、確定申告により、申告分離課税もしくは総合課税のいずれかを選択することもできます。

なお、配当控除は適用されません。

<換金(解約)時および償還時の差益(譲渡益)に対する課税>

換金(解約)時および償還時の差益(譲渡益)については、申告分離課税により20.315%(国税15.315%および地方税5%)の税率が適用され、源泉徴収口座を選択した場合は20.315%の税率により源泉徴収が行なわれます。

損益通算について

以下の所得間で損益通算が可能です。上場株式等の配当所得については申告分離課税を選択したものに限り、

《利子所得》	《上場株式等に係る譲渡所得等》 ^(注2)	《配当所得》
<ul style="list-style-type: none"> ・ 特定公社債^(注1)の利子 ・ 公募公社債投資信託の収益分配金 	特定公社債、公募公社債投資信託、上場株式、公募株式投資信託の <ul style="list-style-type: none"> ・ 譲渡益 ・ 譲渡損 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 上場株式の配当 ・ 公募株式投資信託の収益分配金

(注1)「特定公社債」とは、国債、地方債、外国国債、公募公社債、上場公社債、平成27年12月31日以前に発行された公社債(同族会社が発行した社債を除きます。)などの一定の公社債をいいます。

(注2)株式等に係る譲渡所得等について、上場株式等に係る譲渡所得等とそれ以外の株式等に係る譲渡所得等に区分し、別々の分離課税制度とすることとされ、原則として、これら相互の通算等ができないこととされま

した。

上場株式、公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度「愛称：NISA（ニーサ）」の適用対象です。NISAをご利用の場合、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得及び譲渡所得が一定期間非課税となります。他の口座で生じた配当所得や譲渡所得との損益通算はできません。販売会社で非課税口座を開設するなど、一定の条件に該当する方が対象となります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。

法人の投資家に対する課税

分配金のうち課税扱いとなる普通分配金ならびに換金(解約)時および償還時の個別元本超過額については、15.315%(国税15.315%)の税率で源泉徴収が行なわれます。なお、地方税の源泉徴収はありません。

源泉税は所有期間に応じて法人税額から控除

税金の取扱いの詳細については税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

換金(解約)時および償還時の課税について

[個人の投資家の場合]

換金(解約)時および償還時の差益については、譲渡所得とみなして課税が行われます。

換金(解約)時および償還時の価額から取得費(申込手数料(税込)を含む)を控除した利益を譲渡益として課税対象となります。

[法人の投資家の場合]

換金(解約)時および償還時の個別元本超過額が源泉徴収の対象(配当所得)となります。

なお、販売会社の買取りによるご換金の場合は、税金の取扱いが異なる場合があります。買取りによるご換金について、詳しくは販売会社にお問い合わせください。

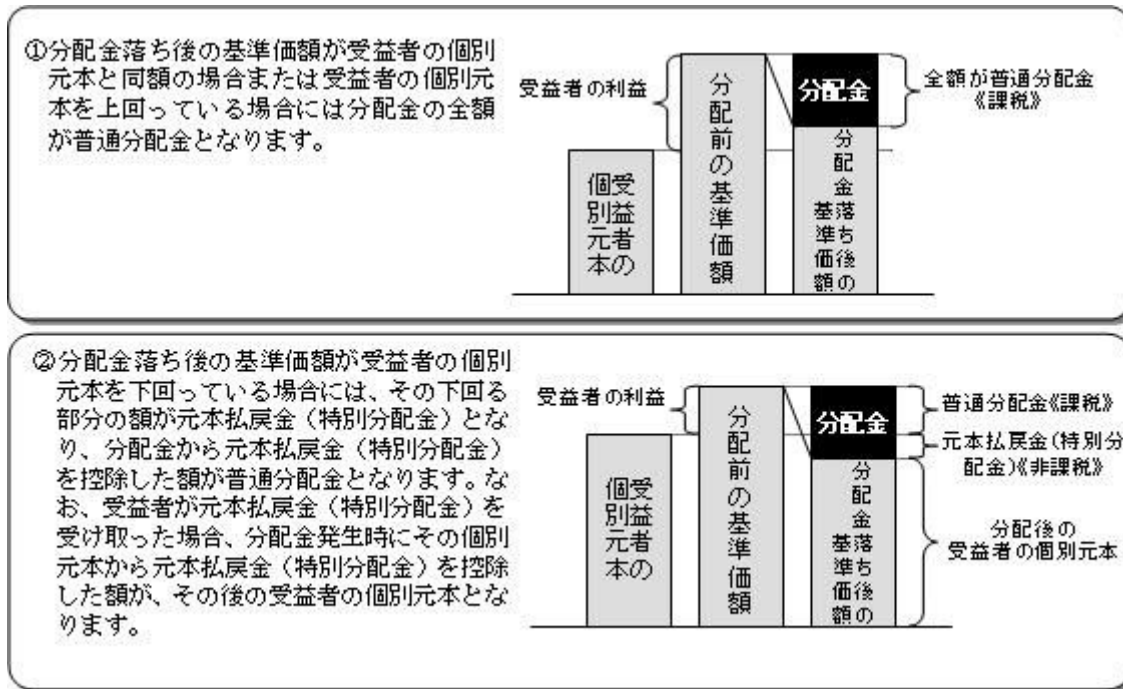
個別元本について

追加型投資信託を保有する受益者毎の取得元本をいいます。

受益者が同一ファンドの受益権を複数回取得した場合や受益者が元本払戻金(特別分配金)を受け取った場合などには、当該受益者の個別元本が変わりますので、詳しくは販売会社へお問い合わせください。

分配金の課税について

分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金(特別分配金)」(受益者毎の元本の一部払戻しに相当する部分)があります。



上図はあくまでもイメージ図であり、個別元本や基準価額、分配金の各水準等を示唆するものではありません。

税法が改正された場合等は、上記「(5)課税上の取扱い」の内容（平成29年7月末現在）が変更になる場合があります。

5 運用状況

以下は平成29年 7月31日現在の運用状況であります。

また、投資比率とはファンドの純資産総額に対する当該資産の時価比率をいいます。

(1) 投資状況

野村ワールドリート通貨選択型ファンド（円コース）

資産の種類	国/地域	時価合計（円）	投資比率（％）
投資信託受益証券	ケイマン諸島	70,597,240	98.23
親投資信託受益証券	日本	488,248	0.67
現金・預金・その他資産（負債控除後）		780,282	1.08
合計（純資産総額）		71,865,770	100.00

野村ワールドリート通貨選択型ファンド（米ドルコース）

資産の種類	国/地域	時価合計（円）	投資比率（％）
投資信託受益証券	ケイマン諸島	525,753,690	98.67
親投資信託受益証券	日本	1,802,522	0.33
現金・預金・その他資産（負債控除後）		5,234,586	0.98

合計(純資産総額)	532,790,798	100.00
-----------	-------------	--------

野村ワールドリート通貨選択型ファンド(豪ドルコース)

資産の種類	国/地域	時価合計(円)	投資比率(%)
投資信託受益証券	ケイマン諸島	353,129,557	98.51
親投資信託受益証券	日本	1,902,662	0.53
現金・預金・その他資産(負債控除後)		3,424,879	0.95
合計(純資産総額)		358,457,098	100.00

野村ワールドリート通貨選択型ファンド(ブラジル・リアルコース)

資産の種類	国/地域	時価合計(円)	投資比率(%)
投資信託受益証券	ケイマン諸島	2,643,653,126	96.64
親投資信託受益証券	日本	64,990,671	2.37
現金・預金・その他資産(負債控除後)		26,880,463	0.98
合計(純資産総額)		2,735,524,260	100.00

(参考)野村マネーインベストメント マザーファンド

資産の種類	国/地域	時価合計(円)	投資比率(%)
地方債証券	日本	5,006,573	4.58
特殊債券	日本	53,098,335	48.63
現金・預金・その他資産(負債控除後)		51,065,061	46.77
合計(純資産総額)		109,169,969	100.00

(2)投資資産

投資有価証券の主要銘柄

野村ワールドリート通貨選択型ファンド(円コース)

順位	国/地域	種類	銘柄名	数量	簿価 単価 (円)	簿価 金額 (円)	評価 単価 (円)	評価 金額 (円)	投資 比率 (%)
1	ケイマン 諸島	投資信託受 益証券	ノムラ・カレンシー・ファンド・ ワールド・リート・ファンド・ク ラスJPY	7,240	9,577	69,337,480	9,751	70,597,240	98.23
2	日本	親投資信託 受益証券	野村マネーインベストメント マ ザーファンド	486,013	1.0046	488,248	1.0046	488,248	0.67

種類別及び業種別投資比率

種類	投資比率(%)
投資信託受益証券	98.23
親投資信託受益証券	0.67
合 計	98.91

野村ワールドリート通貨選択型ファンド（米ドルコース）

順位	国/ 地域	種類	銘柄名	数量	簿価 単価 (円)	簿価 金額 (円)	評価 単価 (円)	評価 金額 (円)	投資 比率 (%)
1	ケイマン 諸島	投資信託受 益証券	ノムラ・カレンシー・ファンド・ ワールド・リート・ファンド・ク ラスUSD	40,334	13,030	525,586,303	13,035	525,753,690	98.67
2	日本	親投資信託 受益証券	野村マネーインベストメント マ ザーファンド	1,794,269	1.0046	1,802,522	1.0046	1,802,522	0.33

種類別及び業種別投資比率

種類	投資比率(%)
投資信託受益証券	98.67
親投資信託受益証券	0.33
合 計	99.01

野村ワールドリート通貨選択型ファンド（豪ドルコース）

順位	国/ 地域	種類	銘柄名	数量	簿価 単価 (円)	簿価 金額 (円)	評価 単価 (円)	評価 金額 (円)	投資 比率 (%)
1	ケイマン 諸島	投資信託受 益証券	ノムラ・カレンシー・ファンド・ ワールド・リート・ファンド・ク ラスAUD	41,239	8,309	342,657,737	8,563	353,129,557	98.51
2	日本	親投資信託 受益証券	野村マネーインベストメント マ ザーファンド	1,893,950	1.0046	1,902,662	1.0046	1,902,662	0.53

種類別及び業種別投資比率

種類	投資比率(%)
投資信託受益証券	98.51
親投資信託受益証券	0.53
合 計	99.04

野村ワールドリート通貨選択型ファンド（ブラジル・リアルコース）

順位	国/ 地域	種類	銘柄名	数量	簿価 単価 (円)	簿価 金額 (円)	評価 単価 (円)	評価 金額 (円)	投資 比率 (%)
1	ケイマン 諸島	投資信託受 益証券	ノムラ・カレンシー・ファンド・ ワールド・リート・ファンド・ク ラスBRL	892,523	2,899	2,587,543,181	2,962	2,643,653,126	96.64

2	日本	親投資信託 受益証券	野村マネーインベストメント マ ザーファンド	64,693,083	1.0046	64,990,671	1.0046	64,990,671	2.37
---	----	---------------	---------------------------	------------	--------	------------	--------	------------	------

種類別及び業種別投資比率

種類	投資比率(%)
投資信託受益証券	96.64
親投資信託受益証券	2.37
合 計	99.01

（参考）野村マネーインベストメント マザーファンド

順位	国/ 地域	種類	銘柄名	数量	簿価 単価 (円)	簿価 金額 (円)	評価 単価 (円)	評価 金額 (円)	利率 (%)	償還期限	投資 比率 (%)
1	日本	特殊債券	日本政策投資銀行債券 政府保証第18回	36,000,000	100.07	36,028,752	100.07	36,028,752	1.9	2017/8/16	33.00
2	日本	特殊債券	政保 地方公共団体金融機構債券(6年) 第1回	10,000,000	100.07	10,007,183	100.07	10,007,183	0.4	2017/9/27	9.16
3	日本	特殊債券	中日本高速道路債券 政府保証第20回	7,000,000	100.89	7,062,400	100.89	7,062,400	1.4	2018/3/16	6.46
4	日本	地方債証券	共同発行市場地方債 公募第53回	5,000,000	100.13	5,006,573	100.13	5,006,573	1.8	2017/8/25	4.58

種類別及び業種別投資比率

種類	投資比率(%)
地方債証券	4.58
特殊債券	48.63
合 計	53.22

投資不動産物件

野村ワールドリート通貨選択型ファンド（円コース）

該当事項はありません。

野村ワールドリート通貨選択型ファンド（米ドルコース）

該当事項はありません。

野村ワールドリート通貨選択型ファンド（豪ドルコース）

該当事項はありません。

野村ワールドリート通貨選択型ファンド（ブラジル・リアルコース）

該当事項はありません。

（参考）野村マネーインベストメント マザーファンド

該当事項はありません。

その他投資資産の主要なもの

野村ワールドリート通貨選択型ファンド（円コース）

該当事項はありません。

野村ワールドリート通貨選択型ファンド（米ドルコース）

該当事項はありません。

野村ワールドリート通貨選択型ファンド（豪ドルコース）

該当事項はありません。

野村ワールドリート通貨選択型ファンド（ブラジル・リアルコース）

該当事項はありません。

（参考）野村マネーインベストメント マザーファンド

該当事項はありません。

（3）運用実績

純資産の推移

野村ワールドリート通貨選択型ファンド（円コース）

平成29年7月末日及び同日前1年以内における各月末並びに下記特定期間末の純資産の推移は次の通りです。

		純資産総額（百万円）		1口当たり純資産額(円)	
		（分配落）	（分配付）	（分配落）	（分配付）
第1特定期間	(2011年 6月17日)	162	163	1.0101	1.0141
第2特定期間	(2011年12月19日)	77	78	0.9210	0.9250
第3特定期間	(2012年 6月18日)	70	70	0.9857	0.9897
第4特定期間	(2012年12月17日)	322	323	1.0507	1.0547
第5特定期間	(2013年 6月17日)	769	771	1.1211	1.1251
第6特定期間	(2013年12月17日)	416	418	1.0793	1.0833

第7特定期間	(2014年 6月17日)	203	204	1.2122	1.2162
第8特定期間	(2014年12月17日)	186	187	1.2816	1.2856
第9特定期間	(2015年 6月17日)	131	132	1.2491	1.2531
第10特定期間	(2015年12月17日)	97	97	1.2181	1.2221
第11特定期間	(2016年 6月17日)	94	94	1.2139	1.2179
第12特定期間	(2016年12月19日)	103	104	1.1520	1.1560
第13特定期間	(2017年 6月19日)	79	79	1.1384	1.1424
	2016年 7月末日	121		1.2876	
	8月末日	133		1.2630	
	9月末日	131		1.2506	
	10月末日	127		1.1701	
	11月末日	116		1.1439	
	12月末日	113		1.1516	
	2017年 1月末日	118		1.1489	
	2月末日	103		1.1781	
	3月末日	98		1.1319	
	4月末日	82		1.1466	
	5月末日	79		1.1212	
	6月末日	78		1.1209	
	7月末日	71		1.1296	

野村ワールドリート通貨選択型ファンド(米ドルコース)

平成29年7月末日及び同日前1年以内における各月末並びに下記特定期間末の純資産の推移は次の通りです。

		純資産総額(百万円)		1口当たり純資産額(円)	
		(分配落)	(分配付)	(分配落)	(分配付)
第1特定期間	(2011年 6月17日)	119	119	0.9887	0.9927
第2特定期間	(2011年12月19日)	51	51	0.8631	0.8671
第3特定期間	(2012年 6月18日)	44	44	0.9331	0.9371
第4特定期間	(2012年12月17日)	140	140	1.0463	1.0503
第5特定期間	(2013年 6月17日)	494	496	1.2445	1.2485
第6特定期間	(2013年12月17日)	464	466	1.3021	1.3061
第7特定期間	(2014年 6月17日)	406	408	1.4418	1.4478
第8特定期間	(2014年12月17日)	763	766	1.7401	1.7461
第9特定期間	(2015年 6月17日)	1,218	1,222	1.7875	1.7935
第10特定期間	(2015年12月17日)	816	819	1.7136	1.7196
第11特定期間	(2016年 6月17日)	668	671	1.4677	1.4737
第12特定期間	(2016年12月19日)	627	629	1.5861	1.5921
第13特定期間	(2017年 6月19日)	564	566	1.4831	1.4891
	2016年 7月末日	657		1.5696	
	8月末日	636		1.5078	
	9月末日	612		1.4823	

10月末日	593		1.4389
11月末日	604		1.5031
12月末日	609		1.5647
2017年 1月末日	660		1.5391
2月末日	653		1.5451
3月末日	565		1.4714
4月末日	582		1.4935
5月末日	562		1.4590
6月末日	555		1.4775
7月末日	532		1.4734

野村ワールドリート通貨選択型ファンド（豪ドルコース）

平成29年7月末日及び同日前1年以内における各月末並びに下記特定期間末の純資産の推移は次の通りです。

	純資産総額（百万円）		1口当たり純資産額(円)	
	（分配落）	（分配付）	（分配落）	（分配付）
第1特定期間 (2011年 6月17日)	319	321	1.0306	1.0386
第2特定期間 (2011年12月19日)	379	382	0.8433	0.8513
第3特定期間 (2012年 6月18日)	247	250	0.9088	0.9168
第4特定期間 (2012年12月17日)	262	263	1.0604	1.0684
第5特定期間 (2013年 6月17日)	358	360	1.1405	1.1485
第6特定期間 (2013年12月17日)	278	280	1.0929	1.1009
第7特定期間 (2014年 6月17日)	260	261	1.2591	1.2671
第8特定期間 (2014年12月17日)	313	315	1.3440	1.3520
第9特定期間 (2015年 6月17日)	660	664	1.3005	1.3085
第10特定期間 (2015年12月17日)	494	498	1.1380	1.1460
第11特定期間 (2016年 6月17日)	434	438	0.9791	0.9871
第12特定期間 (2016年12月19日)	479	482	1.0366	1.0446
第13特定期間 (2017年 6月19日)	357	360	0.9823	0.9903
2016年 7月末日	477		1.0697	
8月末日	508		1.0279	
9月末日	491		1.0222	
10月末日	450		0.9780	
11月末日	467		1.0053	
12月末日	466		1.0044	
2017年 1月末日	475		1.0300	
2月末日	414		1.0502	
3月末日	401		0.9941	
4月末日	373		0.9809	
5月末日	347		0.9503	
6月末日	360		0.9885	
7月末日	358		1.0270	

野村ワールドリート通貨選択型ファンド（ブラジル・リアルコース）

平成29年7月末日及び同日前1年以内における各月末並びに下記特定期間末の純資産の推移は次の通りです。

		純資産総額（百万円）		1口当たり純資産額（円）	
		（分配落）	（分配付）	（分配落）	（分配付）
第1特定期間	(2011年 6月17日)	4,091	4,147	1.0213	1.0353
第2特定期間	(2011年12月19日)	3,796	3,867	0.7416	0.7556
第3特定期間	(2012年 6月18日)	3,464	3,534	0.6925	0.7065
第4特定期間	(2012年12月17日)	4,072	4,151	0.7220	0.7360
第5特定期間	(2013年 6月17日)	11,921	12,133	0.7880	0.8020
第6特定期間	(2013年12月17日)	11,533	11,761	0.7063	0.7203
第7特定期間	(2014年 6月17日)	7,699	7,838	0.7764	0.7904
第8特定期間	(2014年12月17日)	7,318	7,454	0.7547	0.7687
第9特定期間	(2015年 6月17日)	7,598	7,764	0.6413	0.6553
第10特定期間	(2015年12月17日)	5,044	5,166	0.4530	0.4640
第11特定期間	(2016年 6月17日)	3,521	3,573	0.4118	0.4178
第12特定期間	(2016年12月19日)	2,904	2,943	0.4521	0.4581
第13特定期間	(2017年 6月19日)	2,702	2,739	0.4315	0.4375
	2016年 7月末日	3,575		0.4663	
	8月末日	3,286		0.4532	
	9月末日	3,121		0.4474	
	10月末日	2,960		0.4406	
	11月末日	2,802		0.4267	
	12月末日	2,930		0.4604	
	2017年 1月末日	2,968		0.4743	
	2月末日	2,933		0.4793	
	3月末日	2,863		0.4545	
	4月末日	2,824		0.4523	
	5月末日	2,698		0.4296	
	6月末日	2,693		0.4306	
	7月末日	2,735		0.4450	

分配の推移

野村ワールドリート通貨選択型ファンド（円コース）

	計算期間	1口当たりの分配金
第1特定期間	2011年 3月11日～2011年 6月17日	0.0080円
第2特定期間	2011年 6月18日～2011年12月19日	0.0240円
第3特定期間	2011年12月20日～2012年 6月18日	0.0240円

第4特定期間	2012年 6月19日～2012年12月17日	0.0240円
第5特定期間	2012年12月18日～2013年 6月17日	0.0240円
第6特定期間	2013年 6月18日～2013年12月17日	0.0240円
第7特定期間	2013年12月18日～2014年 6月17日	0.0240円
第8特定期間	2014年 6月18日～2014年12月17日	0.0240円
第9特定期間	2014年12月18日～2015年 6月17日	0.0240円
第10特定期間	2015年 6月18日～2015年12月17日	0.0240円
第11特定期間	2015年12月18日～2016年 6月17日	0.0240円
第12特定期間	2016年 6月18日～2016年12月19日	0.0240円
第13特定期間	2016年12月20日～2017年 6月19日	0.0240円

各特定期間中の分配金単価の合計を表示しております。

野村ワールドリート通貨選択型ファンド（米ドルコース）

	計算期間	1口当たりの分配金
第1特定期間	2011年 3月11日～2011年 6月17日	0.0080円
第2特定期間	2011年 6月18日～2011年12月19日	0.0240円
第3特定期間	2011年12月20日～2012年 6月18日	0.0240円
第4特定期間	2012年 6月19日～2012年12月17日	0.0240円
第5特定期間	2012年12月18日～2013年 6月17日	0.0240円
第6特定期間	2013年 6月18日～2013年12月17日	0.0240円
第7特定期間	2013年12月18日～2014年 6月17日	0.0340円
第8特定期間	2014年 6月18日～2014年12月17日	0.0360円
第9特定期間	2014年12月18日～2015年 6月17日	0.0360円
第10特定期間	2015年 6月18日～2015年12月17日	0.0360円
第11特定期間	2015年12月18日～2016年 6月17日	0.0360円
第12特定期間	2016年 6月18日～2016年12月19日	0.0360円
第13特定期間	2016年12月20日～2017年 6月19日	0.0360円

各特定期間中の分配金単価の合計を表示しております。

野村ワールドリート通貨選択型ファンド（豪ドルコース）

	計算期間	1口当たりの分配金
第1特定期間	2011年 3月11日～2011年 6月17日	0.0160円
第2特定期間	2011年 6月18日～2011年12月19日	0.0480円
第3特定期間	2011年12月20日～2012年 6月18日	0.0480円
第4特定期間	2012年 6月19日～2012年12月17日	0.0480円
第5特定期間	2012年12月18日～2013年 6月17日	0.0480円
第6特定期間	2013年 6月18日～2013年12月17日	0.0480円
第7特定期間	2013年12月18日～2014年 6月17日	0.0480円
第8特定期間	2014年 6月18日～2014年12月17日	0.0480円

第9特定期間	2014年12月18日～2015年 6月17日	0.0480円
第10特定期間	2015年 6月18日～2015年12月17日	0.0480円
第11特定期間	2015年12月18日～2016年 6月17日	0.0480円
第12特定期間	2016年 6月18日～2016年12月19日	0.0480円
第13特定期間	2016年12月20日～2017年 6月19日	0.0480円

各特定期間中の分配金単価の合計を表示しております。

野村ワールドリート通貨選択型ファンド（ブラジル・リアルコース）

	計算期間	1口当たりの分配金
第1特定期間	2011年 3月11日～2011年 6月17日	0.0280円
第2特定期間	2011年 6月18日～2011年12月19日	0.0840円
第3特定期間	2011年12月20日～2012年 6月18日	0.0840円
第4特定期間	2012年 6月19日～2012年12月17日	0.0840円
第5特定期間	2012年12月18日～2013年 6月17日	0.0840円
第6特定期間	2013年 6月18日～2013年12月17日	0.0840円
第7特定期間	2013年12月18日～2014年 6月17日	0.0840円
第8特定期間	2014年 6月18日～2014年12月17日	0.0840円
第9特定期間	2014年12月18日～2015年 6月17日	0.0840円
第10特定期間	2015年 6月18日～2015年12月17日	0.0780円
第11特定期間	2015年12月18日～2016年 6月17日	0.0510円
第12特定期間	2016年 6月18日～2016年12月19日	0.0360円
第13特定期間	2016年12月20日～2017年 6月19日	0.0360円

各特定期間中の分配金単価の合計を表示しております。

収益率の推移

野村ワールドリート通貨選択型ファンド（円コース）

	計算期間	収益率
第1特定期間	2011年 3月11日～2011年 6月17日	1.8%
第2特定期間	2011年 6月18日～2011年12月19日	6.4%
第3特定期間	2011年12月20日～2012年 6月18日	9.6%
第4特定期間	2012年 6月19日～2012年12月17日	9.0%
第5特定期間	2012年12月18日～2013年 6月17日	9.0%
第6特定期間	2013年 6月18日～2013年12月17日	1.6%
第7特定期間	2013年12月18日～2014年 6月17日	14.5%
第8特定期間	2014年 6月18日～2014年12月17日	7.7%
第9特定期間	2014年12月18日～2015年 6月17日	0.7%
第10特定期間	2015年 6月18日～2015年12月17日	0.6%
第11特定期間	2015年12月18日～2016年 6月17日	1.6%

第12特定期間	2016年 6月18日～2016年12月19日	3.1%
第13特定期間	2016年12月20日～2017年 6月19日	0.9%

各特定期間中の分配金単価の合計を加算して算出しております。

各特定期間の収益率は、特定期間末の基準価額（期間中の分配金を加算した額）から当該特定期間の直前の特定期間末の基準価額（分配落の額。以下「前期末基準価額」といいます。）を控除した額を前期末基準価額で除して得た数に100を乗じて得た数を記載しております。なお、小数点以下2桁目を四捨五入し、小数点以下1桁目まで表示しております。

野村ワールドリート通貨選択型ファンド（米ドルコース）

	計算期間	収益率
第1特定期間	2011年 3月11日～2011年 6月17日	0.3%
第2特定期間	2011年 6月18日～2011年12月19日	10.3%
第3特定期間	2011年12月20日～2012年 6月18日	10.9%
第4特定期間	2012年 6月19日～2012年12月17日	14.7%
第5特定期間	2012年12月18日～2013年 6月17日	21.2%
第6特定期間	2013年 6月18日～2013年12月17日	6.6%
第7特定期間	2013年12月18日～2014年 6月17日	13.3%
第8特定期間	2014年 6月18日～2014年12月17日	23.2%
第9特定期間	2014年12月18日～2015年 6月17日	4.8%
第10特定期間	2015年 6月18日～2015年12月17日	2.1%
第11特定期間	2015年12月18日～2016年 6月17日	12.2%
第12特定期間	2016年 6月18日～2016年12月19日	10.5%
第13特定期間	2016年12月20日～2017年 6月19日	4.2%

各特定期間中の分配金単価の合計を加算して算出しております。

各特定期間の収益率は、特定期間末の基準価額（期間中の分配金を加算した額）から当該特定期間の直前の特定期間末の基準価額（分配落の額。以下「前期末基準価額」といいます。）を控除した額を前期末基準価額で除して得た数に100を乗じて得た数を記載しております。なお、小数点以下2桁目を四捨五入し、小数点以下1桁目まで表示しております。

野村ワールドリート通貨選択型ファンド（豪ドルコース）

	計算期間	収益率
第1特定期間	2011年 3月11日～2011年 6月17日	4.7%
第2特定期間	2011年 6月18日～2011年12月19日	13.5%
第3特定期間	2011年12月20日～2012年 6月18日	13.5%
第4特定期間	2012年 6月19日～2012年12月17日	22.0%
第5特定期間	2012年12月18日～2013年 6月17日	12.1%
第6特定期間	2013年 6月18日～2013年12月17日	0.0%
第7特定期間	2013年12月18日～2014年 6月17日	19.6%
第8特定期間	2014年 6月18日～2014年12月17日	10.6%
第9特定期間	2014年12月18日～2015年 6月17日	0.3%
第10特定期間	2015年 6月18日～2015年12月17日	8.8%
第11特定期間	2015年12月18日～2016年 6月17日	9.7%

第12特定期間	2016年 6月18日～2016年12月19日	10.8%
第13特定期間	2016年12月20日～2017年 6月19日	0.6%

各特定期間中の分配金単価の合計を加算して算出しております。

各特定期間の収益率は、特定期間末の基準価額（期間中の分配金を加算した額）から当該特定期間の直前の特定期間末の基準価額（分配落の額。以下「前期末基準価額」といいます。）を控除した額を前期末基準価額で除して得た数に100を乗じて得た数を記載しております。なお、小数点以下2桁目を四捨五入し、小数点以下1桁目まで表示しております。

野村ワールドリート通貨選択型ファンド（ブラジル・リアルコース）

	計算期間	収益率
第1特定期間	2011年 3月11日～2011年 6月17日	4.9%
第2特定期間	2011年 6月18日～2011年12月19日	19.2%
第3特定期間	2011年12月20日～2012年 6月18日	4.7%
第4特定期間	2012年 6月19日～2012年12月17日	16.4%
第5特定期間	2012年12月18日～2013年 6月17日	20.8%
第6特定期間	2013年 6月18日～2013年12月17日	0.3%
第7特定期間	2013年12月18日～2014年 6月17日	21.8%
第8特定期間	2014年 6月18日～2014年12月17日	8.0%
第9特定期間	2014年12月18日～2015年 6月17日	3.9%
第10特定期間	2015年 6月18日～2015年12月17日	17.2%
第11特定期間	2015年12月18日～2016年 6月17日	2.2%
第12特定期間	2016年 6月18日～2016年12月19日	18.5%
第13特定期間	2016年12月20日～2017年 6月19日	3.4%

各特定期間中の分配金単価の合計を加算して算出しております。

各特定期間の収益率は、特定期間末の基準価額（期間中の分配金を加算した額）から当該特定期間の直前の特定期間末の基準価額（分配落の額。以下「前期末基準価額」といいます。）を控除した額を前期末基準価額で除して得た数に100を乗じて得た数を記載しております。なお、小数点以下2桁目を四捨五入し、小数点以下1桁目まで表示しております。

（４）設定及び解約の実績

野村ワールドリート通貨選択型ファンド（円コース）

	計算期間	設定口数	解約口数	発行済み口数
第1特定期間	2011年 3月11日～2011年 6月17日	251,736,921	90,532,468	161,204,453
第2特定期間	2011年 6月18日～2011年12月19日	64,498,437	141,347,080	84,355,810
第3特定期間	2011年12月20日～2012年 6月18日	85,396,210	98,557,850	71,194,170
第4特定期間	2012年 6月19日～2012年12月17日	279,792,813	44,268,500	306,718,483
第5特定期間	2012年12月18日～2013年 6月17日	788,212,913	408,940,969	685,990,427
第6特定期間	2013年 6月18日～2013年12月17日	21,460,146	321,335,935	386,114,638
第7特定期間	2013年12月18日～2014年 6月17日	9,844,478	228,175,743	167,783,373
第8特定期間	2014年 6月18日～2014年12月17日	36,925,414	58,834,494	145,874,293
第9特定期間	2014年12月18日～2015年 6月17日	4,438,996	44,750,836	105,562,453
第10特定期間	2015年 6月18日～2015年12月17日	15,617,777	41,367,141	79,813,089

第11特定期間	2015年12月18日～2016年 6月17日	14,085,008	15,983,171	77,914,926
第12特定期間	2016年 6月18日～2016年12月19日	40,953,823	28,897,119	89,971,630
第13特定期間	2016年12月20日～2017年 6月19日	17,977,472	37,981,667	69,967,435

本邦外における設定及び解約の実績はありません。

野村ワールドリート通貨選択型ファンド(米ドルコース)

	計算期間	設定口数	解約口数	発行済み口数
第1特定期間	2011年 3月11日～2011年 6月17日	124,317,898	3,765,071	120,552,827
第2特定期間	2011年 6月18日～2011年12月19日	2,154,746	62,826,090	59,881,483
第3特定期間	2011年12月20日～2012年 6月18日	1,546,326	13,647,242	47,780,567
第4特定期間	2012年 6月19日～2012年12月17日	102,318,085	15,919,982	134,178,670
第5特定期間	2012年12月18日～2013年 6月17日	479,110,067	215,823,370	397,465,367
第6特定期間	2013年 6月18日～2013年12月17日	119,744,202	160,125,189	357,084,380
第7特定期間	2013年12月18日～2014年 6月17日	111,230,021	186,091,153	282,223,248
第8特定期間	2014年 6月18日～2014年12月17日	424,750,832	268,103,779	438,870,301
第9特定期間	2014年12月18日～2015年 6月17日	604,004,608	361,273,942	681,600,967
第10特定期間	2015年 6月18日～2015年12月17日	42,754,849	247,681,392	476,674,424
第11特定期間	2015年12月18日～2016年 6月17日	44,135,270	65,006,981	455,802,713
第12特定期間	2016年 6月18日～2016年12月19日	10,200,851	70,381,363	395,622,201
第13特定期間	2016年12月20日～2017年 6月19日	69,442,007	84,351,152	380,713,056

本邦外における設定及び解約の実績はありません。

野村ワールドリート通貨選択型ファンド(豪ドルコース)

	計算期間	設定口数	解約口数	発行済み口数
第1特定期間	2011年 3月11日～2011年 6月17日	313,101,193	3,217,360	309,883,833
第2特定期間	2011年 6月18日～2011年12月19日	254,761,065	114,836,151	449,808,747
第3特定期間	2011年12月20日～2012年 6月18日	56,490,024	233,499,035	272,799,736
第4特定期間	2012年 6月19日～2012年12月17日	221,744,789	247,453,967	247,090,558
第5特定期間	2012年12月18日～2013年 6月17日	334,577,637	267,384,473	314,283,722
第6特定期間	2013年 6月18日～2013年12月17日	49,071,061	108,161,741	255,193,042
第7特定期間	2013年12月18日～2014年 6月17日	49,899,318	98,357,055	206,735,305
第8特定期間	2014年 6月18日～2014年12月17日	151,881,514	125,149,675	233,467,144
第9特定期間	2014年12月18日～2015年 6月17日	382,358,275	108,022,278	507,803,141
第10特定期間	2015年 6月18日～2015年12月17日	30,643,073	103,880,164	434,566,050
第11特定期間	2015年12月18日～2016年 6月17日	62,004,482	52,673,482	443,897,050
第12特定期間	2016年 6月18日～2016年12月19日	96,737,199	78,475,388	462,158,861
第13特定期間	2016年12月20日～2017年 6月19日	110,597,220	208,445,932	364,310,149

本邦外における設定及び解約の実績はありません。

野村ワールドリート通貨選択型ファンド（ブラジル・リアルコース）

	計算期間	設定口数	解約口数	発行済み口数
第1特定期間	2011年 3月11日～2011年 6月17日	5,056,901,863	1,050,948,248	4,005,953,615
第2特定期間	2011年 6月18日～2011年12月19日	2,499,230,826	1,386,660,963	5,118,523,478
第3特定期間	2011年12月20日～2012年 6月18日	1,240,767,819	1,356,553,407	5,002,737,890
第4特定期間	2012年 6月19日～2012年12月17日	1,959,811,028	1,321,578,135	5,640,970,783
第5特定期間	2012年12月18日～2013年 6月17日	15,773,940,557	6,286,389,095	15,128,522,245
第6特定期間	2013年 6月18日～2013年12月17日	5,514,508,568	4,313,876,335	16,329,154,478
第7特定期間	2013年12月18日～2014年 6月17日	2,441,603,255	8,852,668,326	9,918,089,407
第8特定期間	2014年 6月18日～2014年12月17日	4,564,691,818	4,784,327,322	9,698,453,903
第9特定期間	2014年12月18日～2015年 6月17日	5,590,955,149	3,440,112,979	11,849,296,073
第10特定期間	2015年 6月18日～2015年12月17日	2,693,865,368	3,408,672,554	11,134,488,887
第11特定期間	2015年12月18日～2016年 6月17日	1,343,638,041	3,926,340,902	8,551,786,026
第12特定期間	2016年 6月18日～2016年12月19日	290,222,607	2,417,547,821	6,424,460,812
第13特定期間	2016年12月20日～2017年 6月19日	761,668,910	923,289,538	6,262,840,184

本邦外における設定及び解約の実績はありません。

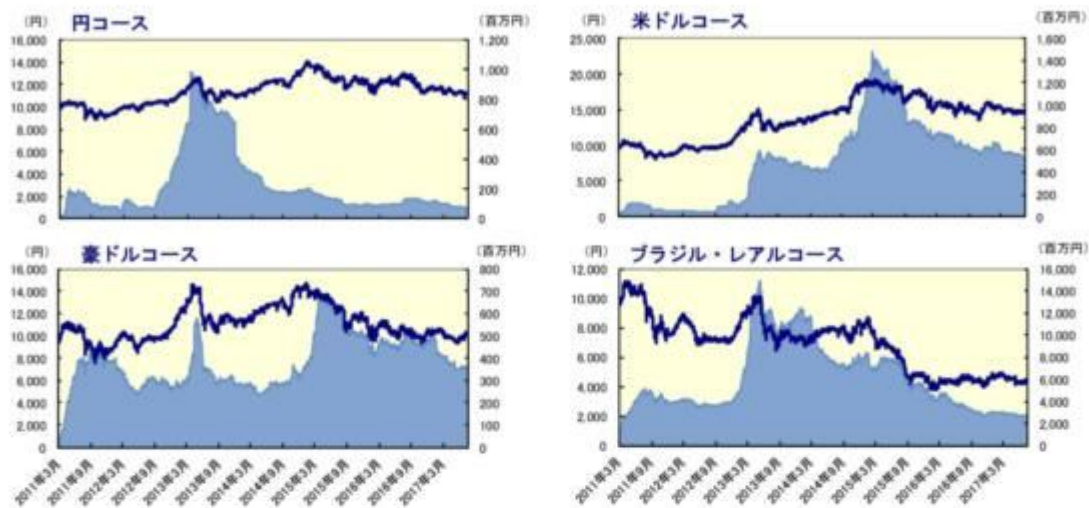
参考情報

< 更新後 >

運用実績 (2017年7月31日現在)

基準価額・純資産の推移

(日次・設定来)



分配の推移

(1万口あたり、課税前)

	円 コース	米ドル コース	豪ドル コース	ブラジル・レアル コース
2017年7月	40 円	60 円	40 円	60 円
2017年6月	40 円	60 円	80 円	60 円
2017年5月	40 円	60 円	80 円	60 円
2017年4月	40 円	60 円	80 円	60 円
2017年3月	40 円	60 円	80 円	60 円
直近1年間累計	480 円	720 円	920 円	720 円
設定来累計	3,000 円	3,840 円	5,960 円	9,070 円

主要な資産の状況

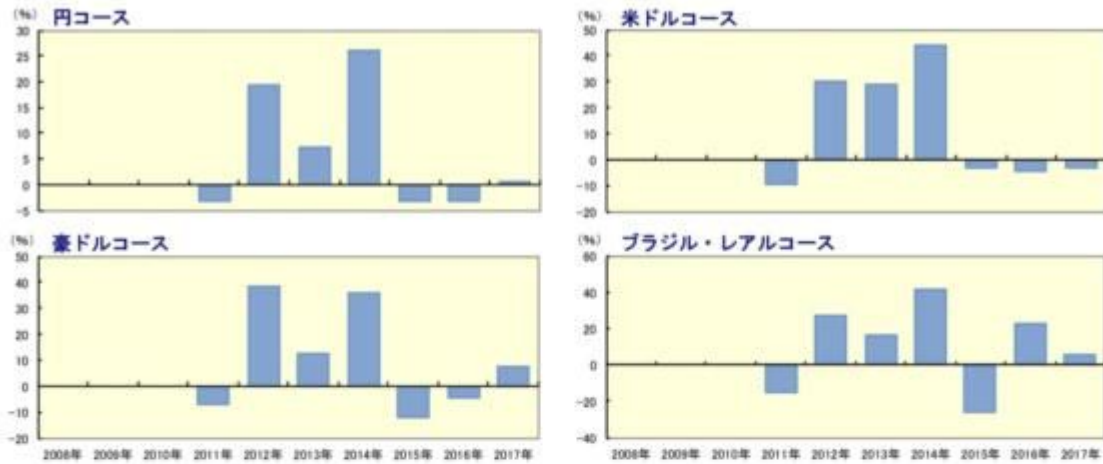
実質的な銘柄別投資比率(上位)

順位	銘柄	国・地域	投資比率(%)			
			円 コース	米ドル コース	豪ドル コース	ブラジル・ レアルコース
1	トーマン・センターズ	アメリカ(優先リート)	5.7	5.7	5.7	5.6
2	リンクREIT	香港	4.2	4.2	4.2	4.1
3	ラサール・ホテル・プロパティーズ	アメリカ(優先リート)	3.6	3.6	3.6	3.5
4	SEGRO	イギリス	3.6	3.6	3.6	3.5
5	プロロジス	アメリカ	3.6	3.6	3.6	3.5
6	エクイティ・レジデンシャル	アメリカ	3.3	3.3	3.3	3.2
7	ボルネード・リアルティ・トラスト	アメリカ(優先リート)	3.2	3.2	3.2	3.1
8	ウェルタワー	アメリカ	3.2	3.2	3.2	3.1
9	ケネディクス不動産投資法人	日本	3.0	3.0	3.0	3.0
10	日本リテールファンド投資法人	日本	2.9	3.0	3.0	2.9

・国・地域は、原則発行国・地域で区分しております。

年間収益率の推移

(暦年ベース)



- ・ファンドの年間収益率は税引前分配金を再投資して算出。
- ・ファンドにベンチマークはありません。
- ・2011年は設定日(2011年3月11日)から年末までの収益率。
- ・2017年は年初から運用実績作成基準日までの収益率。

●ファンドの運用実績はあくまで過去の実績であり、将来の運用成果を約束するものではありません。●ファンドの運用状況は、別途、委託会社ホームページで開示している場合があります。●グラフの縦軸の目盛りはファンドごとに異なる場合があります。

第3【ファンドの経理状況】

野村ワールドリート通貨選択型ファンド（円コース）

野村ワールドリート通貨選択型ファンド（米ドルコース）

野村ワールドリート通貨選択型ファンド（豪ドルコース）

野村ワールドリート通貨選択型ファンド（ブラジル・リアルコース）

(1)当ファンドの財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」(昭和38年大蔵省令第59号)(以下「財務諸表等規則」という。)ならびに同規則第2条の2の規定により、「投資信託財産の計算に関する規則」(平成12年総理府令第133号)(以下「投資信託財産計算規則」という。)に基づいて作成しております。なお、財務諸表に記載している金額は、円単位で表示しております。

(2)当ファンドの計算期間は6ヶ月未満であるため、財務諸表は原則として6ヶ月毎に作成しております。

(3)当ファンドは、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、当期(平成28年12月20日から平成29年6月19日まで)の財務諸表について、新日本有限責任監査法人による監査を受けております。

1 財務諸表

野村ワールドリート通貨選択型ファンド（円コース）

(1) 貸借対照表

	前期 (平成28年12月19日現在)	当期 (平成29年 6月19日現在)
(単位：円)		
資産の部		
流動資産		
コール・ローン	1,517,812	1,163,676
投資信託受益証券	102,098,758	78,324,519
親投資信託受益証券	488,394	488,297
未収入金	-	608,220
流動資産合計	104,104,964	80,584,712
資産合計	104,104,964	80,584,712
負債の部		
流動負債		
未払収益分配金	359,886	279,869
未払解約金	-	581,900
未払受託者報酬	3,142	2,326
未払委託者報酬	98,410	72,896
未払利息	3	1
その他未払費用	308	231
流動負債合計	461,749	937,223
負債合計	461,749	937,223
純資産の部		
元本等		
元本	89,971,630	69,967,435
剰余金		
期末剰余金又は期末欠損金()	13,671,585	9,680,054
(分配準備積立金)	10,283,731	7,580,017
元本等合計	103,643,215	79,647,489
純資産合計	103,643,215	79,647,489
負債純資産合計	104,104,964	80,584,712

(2) 損益及び剰余金計算書

	前期 自 平成28年 6月18日 至 平成28年12月19日	当期 自 平成28年12月20日 至 平成29年 6月19日
営業収益		
受取配当金	3,957,780	3,471,240
有価証券売買等損益	10,573,502	1,947,913
営業収益合計	6,615,722	1,523,327
営業費用		
支払利息	1,490	755
受託者報酬	19,530	15,811
委託者報酬	611,895	495,363
その他費用	1,894	1,530
営業費用合計	634,809	513,459
営業利益又は営業損失（ ）	7,250,531	1,009,868
経常利益又は経常損失（ ）	7,250,531	1,009,868
当期純利益又は当期純損失（ ）	7,250,531	1,009,868
一部解約に伴う当期純利益金額の分配額又は一部解約に伴う当期純損失金額の分配額（ ）	321,239	86,172
期首剰余金又は期首欠損金（ ）	16,668,269	13,671,585
剰余金増加額又は欠損金減少額	11,291,435	2,808,228
当期追加信託に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額	11,291,435	2,808,228
剰余金減少額又は欠損金増加額	5,035,141	5,749,405
当期一部解約に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額	5,035,141	5,749,405
分配金	2,323,686	1,974,050
期末剰余金又は期末欠損金（ ）	13,671,585	9,680,054

(3) 注記表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

1. 運用資産の評価基準及び評価方法	投資信託受益証券 原則として時価で評価しております。 時価評価にあたっては、市場価格のある有価証券についてはその最終相場(計算日に最終相場のない場合には、直近の日の最終相場)で評価しております。 市場価格のない有価証券については基準価額で評価しております。 親投資信託受益証券 基準価額で評価しております。
2. 費用・収益の計上基準	受取配当金 受取配当金は、投資信託受益証券の収益分配金を、原則として収益分配金落の売買が行なわれる日において、当該収益分配金額を計上しております。 有価証券売買等損益 約定日基準で計上しております。
3. 金融商品の時価等に関する事項の補足説明	金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。
4. その他	当該財務諸表の特定期間は、平成28年12月20日から平成29年 6月19日までとなっております。

(貸借対照表に関する注記)

前期 平成28年12月19日現在	当期 平成29年 6月19日現在
1. 特定期間の末日における受益権の総数 89,971,630口	1. 特定期間の末日における受益権の総数 69,967,435口
2. 特定期間の末日における1単位当たりの純資産の額 1口当たり純資産額 1.1520円 (10,000口当たり純資産額) (11,520円)	2. 特定期間の末日における1単位当たりの純資産の額 1口当たり純資産額 1.1384円 (10,000口当たり純資産額) (11,384円)

(損益及び剰余金計算書に関する注記)

前期 自 平成28年 6月18日 至 平成28年12月19日	当期 自 平成28年12月20日 至 平成29年 6月19日																																																												
1. 分配金の計算過程 平成28年 6月18日から平成28年 7月19日まで	1. 分配金の計算過程 平成28年12月20日から平成29年 1月17日まで																																																												
<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>費用控除後の配当等収益額</td> <td>A</td> <td>488,089円</td> </tr> <tr> <td>費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額</td> <td>B</td> <td>0円</td> </tr> <tr> <td>収益調整金額</td> <td>C</td> <td>20,534,703円</td> </tr> <tr> <td>分配準備積立金額</td> <td>D</td> <td>11,816,061円</td> </tr> <tr> <td>当ファンドの分配対象収益額</td> <td>E=A+B+C+D</td> <td>32,838,853円</td> </tr> <tr> <td>当ファンドの期末残存口数</td> <td>F</td> <td>73,889,781口</td> </tr> <tr> <td>10,000口当たり収益分配対象額</td> <td>G=E/F × 10,000</td> <td>4,444円</td> </tr> <tr> <td>10,000口当たり分配金額</td> <td>H</td> <td>40円</td> </tr> <tr> <td>収益分配金金額</td> <td>I=F × H/10,000</td> <td>295,559円</td> </tr> </tbody> </table>	項目			費用控除後の配当等収益額	A	488,089円	費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円	収益調整金額	C	20,534,703円	分配準備積立金額	D	11,816,061円	当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	32,838,853円	当ファンドの期末残存口数	F	73,889,781口	10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F × 10,000	4,444円	10,000口当たり分配金額	H	40円	収益分配金金額	I=F × H/10,000	295,559円	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>費用控除後の配当等収益額</td> <td>A</td> <td>629,413円</td> </tr> <tr> <td>費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額</td> <td>B</td> <td>0円</td> </tr> <tr> <td>収益調整金額</td> <td>C</td> <td>35,100,156円</td> </tr> <tr> <td>分配準備積立金額</td> <td>D</td> <td>10,236,875円</td> </tr> <tr> <td>当ファンドの分配対象収益額</td> <td>E=A+B+C+D</td> <td>45,966,444円</td> </tr> <tr> <td>当ファンドの期末残存口数</td> <td>F</td> <td>100,698,978口</td> </tr> <tr> <td>10,000口当たり収益分配対象額</td> <td>G=E/F × 10,000</td> <td>4,564円</td> </tr> <tr> <td>10,000口当たり分配金額</td> <td>H</td> <td>40円</td> </tr> <tr> <td>収益分配金金額</td> <td>I=F × H/10,000</td> <td>402,795円</td> </tr> </tbody> </table>	項目			費用控除後の配当等収益額	A	629,413円	費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円	収益調整金額	C	35,100,156円	分配準備積立金額	D	10,236,875円	当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	45,966,444円	当ファンドの期末残存口数	F	100,698,978口	10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F × 10,000	4,564円	10,000口当たり分配金額	H	40円	収益分配金金額	I=F × H/10,000	402,795円
項目																																																													
費用控除後の配当等収益額	A	488,089円																																																											
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円																																																											
収益調整金額	C	20,534,703円																																																											
分配準備積立金額	D	11,816,061円																																																											
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	32,838,853円																																																											
当ファンドの期末残存口数	F	73,889,781口																																																											
10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F × 10,000	4,444円																																																											
10,000口当たり分配金額	H	40円																																																											
収益分配金金額	I=F × H/10,000	295,559円																																																											
項目																																																													
費用控除後の配当等収益額	A	629,413円																																																											
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円																																																											
収益調整金額	C	35,100,156円																																																											
分配準備積立金額	D	10,236,875円																																																											
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	45,966,444円																																																											
当ファンドの期末残存口数	F	100,698,978口																																																											
10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F × 10,000	4,564円																																																											
10,000口当たり分配金額	H	40円																																																											
収益分配金金額	I=F × H/10,000	402,795円																																																											
平成28年 7月20日から平成28年 8月17日まで	平成29年 1月18日から平成29年 2月17日まで																																																												
<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>費用控除後の配当等収益額</td> <td>A</td> <td>555,566円</td> </tr> <tr> <td>費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額</td> <td>B</td> <td>0円</td> </tr> <tr> <td>収益調整金額</td> <td>C</td> <td>33,679,001円</td> </tr> <tr> <td>分配準備積立金額</td> <td>D</td> <td>12,008,591円</td> </tr> <tr> <td>当ファンドの分配対象収益額</td> <td>E=A+B+C+D</td> <td>46,243,158円</td> </tr> <tr> <td>当ファンドの期末残存口数</td> <td>F</td> <td>103,704,751口</td> </tr> <tr> <td>10,000口当たり収益分配対象額</td> <td>G=E/F × 10,000</td> <td>4,459円</td> </tr> <tr> <td>10,000口当たり分配金額</td> <td>H</td> <td>40円</td> </tr> <tr> <td>収益分配金金額</td> <td>I=F × H/10,000</td> <td>414,819円</td> </tr> </tbody> </table>	項目			費用控除後の配当等収益額	A	555,566円	費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円	収益調整金額	C	33,679,001円	分配準備積立金額	D	12,008,591円	当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	46,243,158円	当ファンドの期末残存口数	F	103,704,751口	10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F × 10,000	4,459円	10,000口当たり分配金額	H	40円	収益分配金金額	I=F × H/10,000	414,819円	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>費用控除後の配当等収益額</td> <td>A</td> <td>497,874円</td> </tr> <tr> <td>費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額</td> <td>B</td> <td>0円</td> </tr> <tr> <td>収益調整金額</td> <td>C</td> <td>30,777,331円</td> </tr> <tr> <td>分配準備積立金額</td> <td>D</td> <td>8,706,382円</td> </tr> <tr> <td>当ファンドの分配対象収益額</td> <td>E=A+B+C+D</td> <td>39,981,587円</td> </tr> <tr> <td>当ファンドの期末残存口数</td> <td>F</td> <td>87,136,877口</td> </tr> <tr> <td>10,000口当たり収益分配対象額</td> <td>G=E/F × 10,000</td> <td>4,588円</td> </tr> <tr> <td>10,000口当たり分配金額</td> <td>H</td> <td>40円</td> </tr> <tr> <td>収益分配金金額</td> <td>I=F × H/10,000</td> <td>348,547円</td> </tr> </tbody> </table>	項目			費用控除後の配当等収益額	A	497,874円	費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円	収益調整金額	C	30,777,331円	分配準備積立金額	D	8,706,382円	当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	39,981,587円	当ファンドの期末残存口数	F	87,136,877口	10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F × 10,000	4,588円	10,000口当たり分配金額	H	40円	収益分配金金額	I=F × H/10,000	348,547円
項目																																																													
費用控除後の配当等収益額	A	555,566円																																																											
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円																																																											
収益調整金額	C	33,679,001円																																																											
分配準備積立金額	D	12,008,591円																																																											
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	46,243,158円																																																											
当ファンドの期末残存口数	F	103,704,751口																																																											
10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F × 10,000	4,459円																																																											
10,000口当たり分配金額	H	40円																																																											
収益分配金金額	I=F × H/10,000	414,819円																																																											
項目																																																													
費用控除後の配当等収益額	A	497,874円																																																											
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円																																																											
収益調整金額	C	30,777,331円																																																											
分配準備積立金額	D	8,706,382円																																																											
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	39,981,587円																																																											
当ファンドの期末残存口数	F	87,136,877口																																																											
10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F × 10,000	4,588円																																																											
10,000口当たり分配金額	H	40円																																																											
収益分配金金額	I=F × H/10,000	348,547円																																																											
平成28年 8月18日から平成28年 9月20日まで	平成29年 2月18日から平成29年 3月17日まで																																																												
<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>費用控除後の配当等収益額</td> <td>A</td> <td>567,817円</td> </tr> <tr> <td>費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額</td> <td>B</td> <td>0円</td> </tr> <tr> <td>収益調整金額</td> <td>C</td> <td>33,747,979円</td> </tr> </tbody> </table>	項目			費用控除後の配当等収益額	A	567,817円	費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円	収益調整金額	C	33,747,979円	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>費用控除後の配当等収益額</td> <td>A</td> <td>510,058円</td> </tr> <tr> <td>費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額</td> <td>B</td> <td>0円</td> </tr> <tr> <td>収益調整金額</td> <td>C</td> <td>31,050,909円</td> </tr> </tbody> </table>	項目			費用控除後の配当等収益額	A	510,058円	費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円	収益調整金額	C	31,050,909円																																				
項目																																																													
費用控除後の配当等収益額	A	567,817円																																																											
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円																																																											
収益調整金額	C	33,747,979円																																																											
項目																																																													
費用控除後の配当等収益額	A	510,058円																																																											
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円																																																											
収益調整金額	C	31,050,909円																																																											

分配準備積立金額	D	11,925,718円
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	46,241,514円
当ファンドの期末残存口数	F	103,338,754口
10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F × 10,000	4,474円
10,000口当たり分配金額	H	40円
収益分配金金額	I=F × H/10,000	413,355円

平成28年 9月21日から平成28年10月17日まで

項目		
費用控除後の配当等収益額	A	631,187円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円
収益調整金額	C	36,438,795円
分配準備積立金額	D	11,813,035円
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	48,883,017円
当ファンドの期末残存口数	F	108,783,724口
10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F × 10,000	4,493円
10,000口当たり分配金額	H	40円
収益分配金金額	I=F × H/10,000	435,134円

平成28年10月18日から平成28年11月17日まで

項目		
費用控除後の配当等収益額	A	578,637円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円
収益調整金額	C	33,920,015円
分配準備積立金額	D	11,189,285円
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	45,687,937円
当ファンドの期末残存口数	F	101,233,415口
10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F × 10,000	4,513円
10,000口当たり分配金額	H	40円
収益分配金金額	I=F × H/10,000	404,933円

平成28年11月18日から平成28年12月19日まで

項目		
費用控除後の配当等収益額	A	583,193円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円
収益調整金額	C	30,222,342円
分配準備積立金額	D	10,060,424円
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	40,865,959円
当ファンドの期末残存口数	F	89,971,630口
10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F × 10,000	4,542円
10,000口当たり分配金額	H	40円
収益分配金金額	I=F × H/10,000	359,886円

分配準備積立金額	D	8,812,098円
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	40,373,065円
当ファンドの期末残存口数	F	87,633,451口
10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F × 10,000	4,607円
10,000口当たり分配金額	H	40円
収益分配金金額	I=F × H/10,000	350,533円

平成29年 3月18日から平成29年 4月17日まで

項目		
費用控除後の配当等収益額	A	502,693円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円
収益調整金額	C	27,377,698円
分配準備積立金額	D	7,909,223円
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	35,789,614円
当ファンドの期末残存口数	F	77,197,900口
10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F × 10,000	4,636円
10,000口当たり分配金額	H	40円
収益分配金金額	I=F × H/10,000	308,791円

平成29年 4月18日から平成29年 5月17日まで

項目		
費用控除後の配当等収益額	A	408,880円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円
収益調整金額	C	25,201,222円
分配準備積立金額	D	7,400,262円
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	33,010,364円
当ファンドの期末残存口数	F	70,878,954口
10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F × 10,000	4,657円
10,000口当たり分配金額	H	40円
収益分配金金額	I=F × H/10,000	283,515円

平成29年 5月18日から平成29年 6月19日まで

項目		
費用控除後の配当等収益額	A	460,008円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円
収益調整金額	C	24,909,526円
分配準備積立金額	D	7,399,878円
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	32,769,412円
当ファンドの期末残存口数	F	69,967,435口
10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F × 10,000	4,683円
10,000口当たり分配金額	H	40円
収益分配金金額	I=F × H/10,000	279,869円

（金融商品に関する注記）

(1)金融商品の状況に関する事項

前期 自 平成28年 6月18日 至 平成28年12月19日	当期 自 平成28年12月20日 至 平成29年 6月19日
<p>1.金融商品に対する取組方針 当ファンドは、投資信託及び投資法人に関する法律第2条第4項に定める証券投資信託であり、信託約款に規定する運用の基本方針に従い、有価証券等の金融商品に対して投資として運用することを目的としております。</p> <p>2.金融商品の内容及びその金融商品に係るリスク 当ファンドが保有する金融商品の種類は、有価証券、コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務であります。 当ファンドが保有する有価証券の詳細は、(その他の注記)の2 有価証券関係に記載しております。 これらは、REITの価格変動リスク、為替変動リスク、金利変動リスクなどの市場リスク、信用リスク及び流動性リスクにさらされております。</p> <p>3.金融商品に係るリスク管理体制 委託会社においては、独立した投資リスク管理に関する委員会を設け、パフォーマンスの考査及び運用リスクの管理を行なっております。 市場リスクの管理 市場リスクに関しては、資産配分等の状況を常時、分析・把握し、投資方針に沿っているか等の管理を行なっております。 信用リスクの管理 信用リスクに関しては、発行体や取引先の財務状況等に関する情報収集・分析を常時、継続し、格付等の信用度に応じた組入制限等の管理を行なっております。 流動性リスクの管理 流動性リスクに関しては、必要に応じて市場流動性の状況を把握し、取引量や組入比率等の管理を行なっております。</p>	<p>1.金融商品に対する取組方針 同左</p> <p>2.金融商品の内容及びその金融商品に係るリスク 同左</p> <p>3.金融商品に係るリスク管理体制 同左</p>

(2)金融商品の時価等に関する事項

前期 平成28年12月19日現在	当期 平成29年 6月19日現在
<p>1.貸借対照表計上額、時価及び差額 貸借対照表上の金融商品は原則としてすべて時価で評価しているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。</p> <p>2.時価の算定方法</p>	<p>1.貸借対照表計上額、時価及び差額 同左</p> <p>2.時価の算定方法</p>

投資信託受益証券 （重要な会計方針に係る事項に関する注記）に記載しております。 親投資信託受益証券 （重要な会計方針に係る事項に関する注記）に記載しております。 コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務 これらの科目は短期間で決済されるため、帳簿価額は時価と近似していることから、当該帳簿価額を時価としております。	同左
---	----

（関連当事者との取引に関する注記）

前期 自 平成28年 6月18日 至 平成28年12月19日	当期 自 平成28年12月20日 至 平成29年 6月19日
市場価格その他当該取引に係る公正な価格を勘案して、一般の取引条件と異なる関連当事者との取引は行なわれていないため、該当事項はございません。	同左

（その他の注記）

1 元本の移動

前期 自 平成28年 6月18日 至 平成28年12月19日	当期 自 平成28年12月20日 至 平成29年 6月19日
期首元本額 77,914,926円	期首元本額 89,971,630円
期中追加設定元本額 40,953,823円	期中追加設定元本額 17,977,472円
期中一部解約元本額 28,897,119円	期中一部解約元本額 37,981,667円

2 有価証券関係
売買目的有価証券

種類	前期 自 平成28年 6月18日 至 平成28年12月19日	当期 自 平成28年12月20日 至 平成29年 6月19日
	損益に含まれた評価差額（円）	損益に含まれた評価差額（円）
投資信託受益証券	2,274,498	1,629,924
親投資信託受益証券	49	0
合計	2,274,449	1,629,924

3 デリバティブ取引関係

該当事項はありません。

(4) 附属明細表

第1 有価証券明細表

(1) 株式(平成29年 6月19日現在)

該当事項はありません。

(2) 株式以外の有価証券(平成29年 6月19日現在)

(単位:円)

種類	通貨	銘柄	券面総額	評価額	備考
投資信託受益証券	日本円	ノムラ・カレンシー・ファンド - ワールド・リート・ファンド - クラ スJPY	7,959	78,324,519	
	小計	銘柄数: 1 組入時価比率: 98.3%	7,959	78,324,519 99.4%	
	合計			78,324,519	
親投資信託受益証券	日本円	野村マネーインベストメント マ ザーファンド	486,013	488,297	
	小計	銘柄数: 1 組入時価比率: 0.6%	486,013	488,297 0.6%	
	合計			488,297	
合計				78,812,816	

(注1)投資信託受益証券、投資証券及び親投資信託受益証券における券面総額の数値は、証券数を表示しております。

(注2)比率は左より組入時価の純資産に対する比率、及び各小計欄の合計金額に対する比率であります。

第2 デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表

該当事項はありません。

野村ワールドリート通貨選択型ファンド（米ドルコース）

(1) 貸借対照表

(単位:円)

	前期 (平成28年12月19日現在)	当期 (平成29年 6月19日現在)
資産の部		
流動資産		

	前期 (平成28年12月19日現在)	当期 (平成29年 6月19日現在)
コール・ローン	14,272,036	16,601,788
投資信託受益証券	612,965,109	557,167,525
親投資信託受益証券	1,803,060	1,802,702
未収入金	6,719,956	1,117,426
流動資産合計	635,760,161	576,689,441
資産合計	635,760,161	576,689,441
負債の部		
流動負債		
未払金	-	4,801,482
未払収益分配金	2,373,733	2,284,278
未払解約金	5,315,892	4,425,310
未払受託者報酬	17,101	16,419
未払委託者報酬	535,864	514,436
未払利息	29	25
その他未払費用	1,698	1,629
流動負債合計	8,244,317	12,043,579
負債合計	8,244,317	12,043,579
純資産の部		
元本等		
元本	395,622,201	380,713,056
剰余金		
期末剰余金又は期末欠損金（ ）	231,893,643	183,932,806
（分配準備積立金）	64,867,783	57,556,407
元本等合計	627,515,844	564,645,862
純資産合計	627,515,844	564,645,862
負債純資産合計	635,760,161	576,689,441

(2) 損益及び剰余金計算書

(単位：円)

	前期 自 平成28年 6月18日 至 平成28年12月19日	当期 自 平成28年12月20日 至 平成29年 6月19日
営業収益		
受取配当金	22,814,380	22,415,510
有価証券売買等損益	43,787,786	45,333,490
営業収益合計	66,602,166	22,917,980
営業費用		
支払利息	3,760	4,000
受託者報酬	101,920	96,889
委託者報酬	3,193,435	3,035,757
その他費用	10,129	9,629
営業費用合計	3,309,244	3,146,275
営業利益又は営業損失（ ）	63,292,922	26,064,255
経常利益又は経常損失（ ）	63,292,922	26,064,255
当期純利益又は当期純損失（ ）	63,292,922	26,064,255
一部解約に伴う当期純利益金額の分配額又は一部解約に伴う当期純損失金額の分配額（ ）	1,453,409	222,769
期首剰余金又は期首欠損金（ ）	213,181,919	231,893,643
剰余金増加額又は欠損金減少額	4,897,457	36,884,038
当期追加信託に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額	4,897,457	36,884,038
剰余金減少額又は欠損金増加額	33,172,629	44,900,127
当期一部解約に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額	33,172,629	44,900,127
分配金	14,852,617	14,103,262
期末剰余金又は期末欠損金（ ）	231,893,643	183,932,806

(3) 注記表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

1. 運用資産の評価基準及び評価方法	投資信託受益証券 原則として時価で評価しております。 時価評価にあたっては、市場価格のある有価証券についてはその最終相場(計算日に最終相場のない場合には、直近の日の最終相場)で評価しております。 市場価格のない有価証券については基準価額で評価しております。
2. 費用・収益の計上基準	親投資信託受益証券 基準価額で評価しております。 受取配当金 受取配当金は、投資信託受益証券の収益分配金を、原則として収益分配金落の売買が行なわれる日において、当該収益分配金額を計上しております。
3. 金融商品の時価等に関する事項の補足説明	有価証券売買等損益 約定日基準で計上しております。 金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。
4. その他	当該財務諸表の特定期間は、平成28年12月20日から平成29年 6月19日までとなっております。

(貸借対照表に関する注記)

前期 平成28年12月19日現在	当期 平成29年 6月19日現在
1. 特定期間の末日における受益権の総数 395,622,201口	1. 特定期間の末日における受益権の総数 380,713,056口
2. 特定期間の末日における1単位当たりの純資産の額 1口当たり純資産額 1.5861円 (10,000口当たり純資産額) (15,861円)	2. 特定期間の末日における1単位当たりの純資産の額 1口当たり純資産額 1.4831円 (10,000口当たり純資産額) (14,831円)

(損益及び剰余金計算書に関する注記)

前期 自 平成28年 6月18日 至 平成28年12月19日	当期 自 平成28年12月20日 至 平成29年 6月19日																														
1. 分配金の計算過程 平成28年 6月18日から平成28年 7月19日まで	1. 分配金の計算過程 平成28年12月20日から平成29年 1月17日まで																														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>費用控除後の配当等収益額</td> <td>A</td> <td>4,161,476円</td> </tr> <tr> <td>費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額</td> <td>B</td> <td>0円</td> </tr> <tr> <td>収益調整金額</td> <td>C</td> <td>322,935,655円</td> </tr> <tr> <td>分配準備積立金額</td> <td>D</td> <td>65,451,508円</td> </tr> </tbody> </table>	項目			費用控除後の配当等収益額	A	4,161,476円	費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円	収益調整金額	C	322,935,655円	分配準備積立金額	D	65,451,508円	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>費用控除後の配当等収益額</td> <td>A</td> <td>3,305,771円</td> </tr> <tr> <td>費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額</td> <td>B</td> <td>0円</td> </tr> <tr> <td>収益調整金額</td> <td>C</td> <td>292,191,391円</td> </tr> <tr> <td>分配準備積立金額</td> <td>D</td> <td>62,743,741円</td> </tr> </tbody> </table>	項目			費用控除後の配当等収益額	A	3,305,771円	費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円	収益調整金額	C	292,191,391円	分配準備積立金額	D	62,743,741円
項目																															
費用控除後の配当等収益額	A	4,161,476円																													
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円																													
収益調整金額	C	322,935,655円																													
分配準備積立金額	D	65,451,508円																													
項目																															
費用控除後の配当等収益額	A	3,305,771円																													
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円																													
収益調整金額	C	292,191,391円																													
分配準備積立金額	D	62,743,741円																													

当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	392,548,639円
当ファンドの期末残存口数	F	427,233,443口
10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F × 10,000	9,188円
10,000口当たり分配金額	H	60円
収益分配金額	I=F × H/10,000	2,563,400円

平成28年 7月20日から平成28年 8月17日まで

項目		
費用控除後の配当等収益額	A	3,599,866円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円
収益調整金額	C	316,931,390円
分配準備積立金額	D	65,692,454円
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	386,223,710円
当ファンドの期末残存口数	F	419,130,565口
10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F × 10,000	9,214円
10,000口当たり分配金額	H	60円
収益分配金額	I=F × H/10,000	2,514,783円

平成28年 8月18日から平成28年 9月20日まで

項目		
費用控除後の配当等収益額	A	3,075,337円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円
収益調整金額	C	317,668,027円
分配準備積立金額	D	65,747,011円
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	386,490,375円
当ファンドの期末残存口数	F	418,777,635口
10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F × 10,000	9,228円
10,000口当たり分配金額	H	60円
収益分配金額	I=F × H/10,000	2,512,665円

平成28年 9月21日から平成28年10月17日まで

項目		
費用控除後の配当等収益額	A	3,277,625円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円
収益調整金額	C	313,194,744円
分配準備積立金額	D	65,216,872円
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	381,689,241円
当ファンドの期末残存口数	F	412,675,856口
10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F × 10,000	9,249円
10,000口当たり分配金額	H	60円
収益分配金額	I=F × H/10,000	2,476,055円

平成28年10月18日から平成28年11月17日まで

項目		
----	--	--

当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	358,240,903円
当ファンドの期末残存口数	F	384,317,581口
10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F × 10,000	9,321円
10,000口当たり分配金額	H	60円
収益分配金額	I=F × H/10,000	2,305,905円

平成29年 1月18日から平成29年 2月17日まで

項目		
費用控除後の配当等収益額	A	3,686,687円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円
収益調整金額	C	333,592,833円
分配準備積立金額	D	62,339,248円
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	399,618,768円
当ファンドの期末残存口数	F	427,455,529口
10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F × 10,000	9,348円
10,000口当たり分配金額	H	60円
収益分配金額	I=F × H/10,000	2,564,733円

平成29年 2月18日から平成29年 3月17日まで

項目		
費用控除後の配当等収益額	A	3,361,121円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円
収益調整金額	C	301,685,699円
分配準備積立金額	D	57,332,966円
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	362,379,786円
当ファンドの期末残存口数	F	386,318,593口
10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F × 10,000	9,380円
10,000口当たり分配金額	H	60円
収益分配金額	I=F × H/10,000	2,317,911円

平成29年 3月18日から平成29年 4月17日まで

項目		
費用控除後の配当等収益額	A	2,921,198円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円
収益調整金額	C	302,469,899円
分配準備積立金額	D	57,629,897円
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	363,020,994円
当ファンドの期末残存口数	F	386,335,264口
10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F × 10,000	9,396円
10,000口当たり分配金額	H	60円
収益分配金額	I=F × H/10,000	2,318,011円

平成29年 4月18日から平成29年 5月17日まで

項目		
----	--	--

費用控除後の配当等収益額	A	3,031,685円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円
収益調整金額	C	305,184,003円
分配準備積立金額	D	64,262,832円
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	372,478,520円
当ファンドの期末残存口数	F	401,996,876口
10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F × 10,000	9,265円
10,000口当たり分配金額	H	60円
収益分配金金額	I=F × H/10,000	2,411,981円

平成28年11月18日から平成28年12月19日まで

項目		
費用控除後の配当等収益額	A	3,467,123円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円
収益調整金額	C	300,443,903円
分配準備積立金額	D	63,774,393円
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	367,685,419円
当ファンドの期末残存口数	F	395,622,201口
10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F × 10,000	9,293円
10,000口当たり分配金額	H	60円
収益分配金金額	I=F × H/10,000	2,373,733円

費用控除後の配当等収益額	A	2,933,026円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円
収益調整金額	C	302,307,999円
分配準備積立金額	D	57,545,238円
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	362,786,263円
当ファンドの期末残存口数	F	385,404,000口
10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F × 10,000	9,413円
10,000口当たり分配金額	H	60円
収益分配金金額	I=F × H/10,000	2,312,424円

平成29年 5月18日から平成29年 6月19日まで

項目		
費用控除後の配当等収益額	A	3,014,547円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円
収益調整金額	C	299,324,461円
分配準備積立金額	D	56,826,138円
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	359,165,146円
当ファンドの期末残存口数	F	380,713,056口
10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F × 10,000	9,433円
10,000口当たり分配金額	H	60円
収益分配金金額	I=F × H/10,000	2,284,278円

(金融商品に関する注記)

(1)金融商品の状況に関する事項

前期 自 平成28年 6月18日 至 平成28年12月19日	当期 自 平成28年12月20日 至 平成29年 6月19日
<p>1.金融商品に対する取組方針</p> <p>当ファンドは、投資信託及び投資法人に関する法律第2条第4項に定める証券投資信託であり、信託約款に規定する運用の基本方針に従い、有価証券等の金融商品に対して投資として運用することを目的としております。</p> <p>2.金融商品の内容及びその金融商品に係るリスク</p> <p>当ファンドが保有する金融商品の種類は、有価証券、コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務であります。</p> <p>当ファンドが保有する有価証券の詳細は、(その他の注記)の2 有価証券関係に記載しております。</p> <p>これらは、REITの価格変動リスク、為替変動リスク、金利変動リスクなどの市場リスク、信用リスク及び流動性リスクにさらされております。</p> <p>3.金融商品に係るリスク管理体制</p>	<p>1.金融商品に対する取組方針</p> <p>同左</p> <p>2.金融商品の内容及びその金融商品に係るリスク</p> <p>同左</p> <p>3.金融商品に係るリスク管理体制</p>

<p>委託会社においては、独立した投資リスク管理に関する委員会を設け、パフォーマンスの考査及び運用リスクの管理を行なっております。</p> <p>市場リスクの管理 市場リスクに関しては、資産配分等の状況を常時、分析・把握し、投資方針に沿っているか等の管理を行なっております。</p> <p>信用リスクの管理 信用リスクに関しては、発行体や取引先の財務状況等に関する情報収集・分析を常時、継続し、格付等の信用度に応じた組入制限等の管理を行なっております。</p> <p>流動性リスクの管理 流動性リスクに関しては、必要に応じて市場流動性の状況を把握し、取引量や組入比率等の管理を行なっております。</p>	同左
--	----

(2)金融商品の時価等に関する事項

<p>前期 平成28年12月19日現在</p>	<p>当期 平成29年 6月19日現在</p>
<p>1. 貸借対照表計上額、時価及び差額 貸借対照表上の金融商品は原則としてすべて時価で評価しているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。</p> <p>2. 時価の算定方法 投資信託受益証券 （重要な会計方針に係る事項に関する注記）に記載しております。 親投資信託受益証券 （重要な会計方針に係る事項に関する注記）に記載しております。 コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務 これらの科目は短期間で決済されるため、帳簿価額は時価と近似していることから、当該帳簿価額を時価としております。</p>	<p>1. 貸借対照表計上額、時価及び差額 同左</p> <p>2. 時価の算定方法 同左</p>

(関連当事者との取引に関する注記)

<p>前期 自 平成28年 6月18日 至 平成28年12月19日</p>	<p>当期 自 平成28年12月20日 至 平成29年 6月19日</p>
<p>市場価格その他当該取引に係る公正な価格を勘案して、一般の取引条件と異なる関連当事者との取引は行なわれていないため、該当事項はございません。</p>	同左

(その他の注記)

1 元本の移動

	前期 自 平成28年 6月18日 至 平成28年12月19日	当期 自 平成28年12月20日 至 平成29年 6月19日
期首元本額	455,802,713円	期首元本額 395,622,201円
期中追加設定元本額	10,200,851円	期中追加設定元本額 69,442,007円
期中一部解約元本額	70,381,363円	期中一部解約元本額 84,351,152円

2 有価証券関係 売買目的有価証券

種類	前期 自 平成28年 6月18日 至 平成28年12月19日	当期 自 平成28年12月20日 至 平成29年 6月19日
	損益に含まれた評価差額（円）	損益に含まれた評価差額（円）
投資信託受益証券	56,538,234	1,773,790
親投資信託受益証券	180	0
合計	56,538,054	1,773,790

3 デリバティブ取引関係

該当事項はありません。

(4) 附属明細表

第1 有価証券明細表

(1) 株式(平成29年 6月19日現在)

該当事項はありません。

(2) 株式以外の有価証券(平成29年 6月19日現在)

(単位:円)

種類	通貨	銘柄	券面総額	評価額	備考
投資信託受益証券	日本円	ノムラ・カレンシー・ファンド - ワールド・リート・ファンド - クラ スUSD	42,425	557,167,525	
		小計	42,425	557,167,525	
	合計			557,167,525	99.7%

親投資信託受益証券	日本円	野村マネーインベストメント マ ザーファンド	1,794,269	1,802,702	
	小計	銘柄数：1 組入時価比率：0.3%	1,794,269	1,802,702	0.3%
	合計			1,802,702	
合計				558,970,227	

(注1)投資信託受益証券、投資証券及び親投資信託受益証券における券面総額の数値は、証券数を表示しております。

(注2)比率は左より組入時価の純資産に対する比率、及び各小計欄の合計金額に対する比率であります。

第2 デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表

該当事項はありません。

野村ワールドリート通貨選択型ファンド（豪ドルコース）

（1）貸借対照表

（単位：円）

	前期 (平成28年12月19日現在)	当期 (平成29年 6月19日現在)
資産の部		
流動資産		
コール・ローン	8,963,729	6,825,521
投資信託受益証券	472,132,008	352,366,560
親投資信託受益証券	1,903,230	1,902,851
未収入金	208,608	-
流動資産合計	483,207,575	361,094,932
資産合計	483,207,575	361,094,932
負債の部		
流動負債		
未払収益分配金	3,697,270	2,914,481
未払受託者報酬	13,176	10,333
未払委託者報酬	412,808	323,748
未払利息	18	10
その他未払費用	1,308	1,019
流動負債合計	4,124,580	3,249,591
負債合計	4,124,580	3,249,591
純資産の部		
元本等		
元本	462,158,861	364,310,149
剰余金		
期末剰余金又は期末欠損金（ ）	16,924,134	6,464,808
（分配準備積立金）	35,569,577	25,806,668
元本等合計	479,082,995	357,845,341
純資産合計	479,082,995	357,845,341
負債純資産合計	483,207,575	361,094,932

（2）損益及び剰余金計算書

	前期 自 平成28年 6月18日 至 平成28年12月19日	当期 自 平成28年12月20日 至 平成29年 6月19日
営業収益		
受取配当金	29,486,520	25,771,950
有価証券売買等損益	18,073,005	25,994,284
営業収益合計	47,559,525	222,334
営業費用		
支払利息	4,579	3,942
受託者報酬	77,602	66,718
委託者報酬	2,431,323	2,090,306
その他費用	7,699	6,611
営業費用合計	2,521,203	2,167,577
営業利益又は営業損失()	45,038,322	2,389,911
経常利益又は経常損失()	45,038,322	2,389,911
当期純利益又は当期純損失()	45,038,322	2,389,911
一部解約に伴う当期純利益金額の分配額又は一部解約に伴う当期純損失金額の分配額()	186,681	1,506,987
期首剰余金又は期首欠損金()	9,272,190	16,924,134
剰余金増加額又は欠損金減少額	3,515,908	214,219
当期追加信託に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額	3,515,908	214,219
剰余金減少額又は欠損金増加額	190,863	3,262,530
当期一部解約に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額	190,863	3,262,530
分配金	22,353,724	19,457,707
期末剰余金又は期末欠損金()	16,924,134	6,464,808

(3) 注記表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

1. 運用資産の評価基準及び評価方法	投資信託受益証券 原則として時価で評価しております。 時価評価にあたっては、市場価格のある有価証券についてはその最終相場(計算日に最終相場のない場合には、直近の日の最終相場)で評価しております。 市場価格のない有価証券については基準価額で評価しております。 親投資信託受益証券 基準価額で評価しております。
2. 費用・収益の計上基準	受取配当金 受取配当金は、投資信託受益証券の収益分配金を、原則として収益分配金落の売買が行なわれる日において、当該収益分配金額を計上しております。 有価証券売買等損益 約定日基準で計上しております。
3. 金融商品の時価等に関する事項の補足説明	金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。
4. その他	当該財務諸表の特定期間は、平成28年12月20日から平成29年 6月19日までとなっております。

(貸借対照表に関する注記)

前期 平成28年12月19日現在	当期 平成29年 6月19日現在
1. 特定期間の末日における受益権の総数 462,158,861口	1. 特定期間の末日における受益権の総数 364,310,149口
2. 特定期間の末日における1単位当たりの純資産の額 1口当たり純資産額 1.0366円 (10,000口当たり純資産額) (10,366円)	2. 投資信託財産計算規則第55条の6第1項第10号に規定する額 元本の欠損 6,464,808円 3. 特定期間の末日における1単位当たりの純資産の額 1口当たり純資産額 0.9823円 (10,000口当たり純資産額) (9,823円)

(損益及び剰余金計算書に関する注記)

前期 自 平成28年 6月18日 至 平成28年12月19日	当期 自 平成28年12月20日 至 平成29年 6月19日																																																												
1. 分配金の計算過程 平成28年 6月18日から平成28年 7月19日まで	1. 分配金の計算過程 平成28年12月20日から平成29年 1月17日まで																																																												
<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>費用控除後の配当等収益額</td> <td>A</td> <td>4,517,005円</td> </tr> <tr> <td>費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額</td> <td>B</td> <td>0円</td> </tr> <tr> <td>収益調整金額</td> <td>C</td> <td>236,907,674円</td> </tr> <tr> <td>分配準備積立金額</td> <td>D</td> <td>35,126,260円</td> </tr> <tr> <td>当ファンドの分配対象収益額</td> <td>E=A+B+C+D</td> <td>276,550,939円</td> </tr> <tr> <td>当ファンドの期末残存口数</td> <td>F</td> <td>436,484,077口</td> </tr> <tr> <td>10,000口当たり収益分配対象額</td> <td>G=E/F × 10,000</td> <td>6,335円</td> </tr> <tr> <td>10,000口当たり分配金額</td> <td>H</td> <td>80円</td> </tr> <tr> <td>収益分配金金額</td> <td>I=F × H/10,000</td> <td>3,491,872円</td> </tr> </tbody> </table>	項目			費用控除後の配当等収益額	A	4,517,005円	費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円	収益調整金額	C	236,907,674円	分配準備積立金額	D	35,126,260円	当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	276,550,939円	当ファンドの期末残存口数	F	436,484,077口	10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F × 10,000	6,335円	10,000口当たり分配金額	H	80円	収益分配金金額	I=F × H/10,000	3,491,872円	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>費用控除後の配当等収益額</td> <td>A</td> <td>4,869,232円</td> </tr> <tr> <td>費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額</td> <td>B</td> <td>0円</td> </tr> <tr> <td>収益調整金額</td> <td>C</td> <td>283,933,859円</td> </tr> <tr> <td>分配準備積立金額</td> <td>D</td> <td>34,482,479円</td> </tr> <tr> <td>当ファンドの分配対象収益額</td> <td>E=A+B+C+D</td> <td>323,285,570円</td> </tr> <tr> <td>当ファンドの期末残存口数</td> <td>F</td> <td>501,250,287口</td> </tr> <tr> <td>10,000口当たり収益分配対象額</td> <td>G=E/F × 10,000</td> <td>6,449円</td> </tr> <tr> <td>10,000口当たり分配金額</td> <td>H</td> <td>80円</td> </tr> <tr> <td>収益分配金金額</td> <td>I=F × H/10,000</td> <td>4,010,002円</td> </tr> </tbody> </table>	項目			費用控除後の配当等収益額	A	4,869,232円	費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円	収益調整金額	C	283,933,859円	分配準備積立金額	D	34,482,479円	当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	323,285,570円	当ファンドの期末残存口数	F	501,250,287口	10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F × 10,000	6,449円	10,000口当たり分配金額	H	80円	収益分配金金額	I=F × H/10,000	4,010,002円
項目																																																													
費用控除後の配当等収益額	A	4,517,005円																																																											
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円																																																											
収益調整金額	C	236,907,674円																																																											
分配準備積立金額	D	35,126,260円																																																											
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	276,550,939円																																																											
当ファンドの期末残存口数	F	436,484,077口																																																											
10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F × 10,000	6,335円																																																											
10,000口当たり分配金額	H	80円																																																											
収益分配金金額	I=F × H/10,000	3,491,872円																																																											
項目																																																													
費用控除後の配当等収益額	A	4,869,232円																																																											
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円																																																											
収益調整金額	C	283,933,859円																																																											
分配準備積立金額	D	34,482,479円																																																											
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	323,285,570円																																																											
当ファンドの期末残存口数	F	501,250,287口																																																											
10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F × 10,000	6,449円																																																											
10,000口当たり分配金額	H	80円																																																											
収益分配金金額	I=F × H/10,000	4,010,002円																																																											
平成28年 7月20日から平成28年 8月17日まで	平成29年 1月18日から平成29年 2月17日まで																																																												
<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>費用控除後の配当等収益額</td> <td>A</td> <td>4,614,318円</td> </tr> <tr> <td>費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額</td> <td>B</td> <td>0円</td> </tr> <tr> <td>収益調整金額</td> <td>C</td> <td>271,127,707円</td> </tr> <tr> <td>分配準備積立金額</td> <td>D</td> <td>35,731,583円</td> </tr> <tr> <td>当ファンドの分配対象収益額</td> <td>E=A+B+C+D</td> <td>311,473,608円</td> </tr> <tr> <td>当ファンドの期末残存口数</td> <td>F</td> <td>490,338,369口</td> </tr> <tr> <td>10,000口当たり収益分配対象額</td> <td>G=E/F × 10,000</td> <td>6,352円</td> </tr> <tr> <td>10,000口当たり分配金額</td> <td>H</td> <td>80円</td> </tr> <tr> <td>収益分配金金額</td> <td>I=F × H/10,000</td> <td>3,922,706円</td> </tr> </tbody> </table>	項目			費用控除後の配当等収益額	A	4,614,318円	費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円	収益調整金額	C	271,127,707円	分配準備積立金額	D	35,731,583円	当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	311,473,608円	当ファンドの期末残存口数	F	490,338,369口	10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F × 10,000	6,352円	10,000口当たり分配金額	H	80円	収益分配金金額	I=F × H/10,000	3,922,706円	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>費用控除後の配当等収益額</td> <td>A</td> <td>3,958,725円</td> </tr> <tr> <td>費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額</td> <td>B</td> <td>0円</td> </tr> <tr> <td>収益調整金額</td> <td>C</td> <td>221,819,311円</td> </tr> <tr> <td>分配準備積立金額</td> <td>D</td> <td>27,683,305円</td> </tr> <tr> <td>当ファンドの分配対象収益額</td> <td>E=A+B+C+D</td> <td>253,461,341円</td> </tr> <tr> <td>当ファンドの期末残存口数</td> <td>F</td> <td>391,239,607口</td> </tr> <tr> <td>10,000口当たり収益分配対象額</td> <td>G=E/F × 10,000</td> <td>6,478円</td> </tr> <tr> <td>10,000口当たり分配金額</td> <td>H</td> <td>80円</td> </tr> <tr> <td>収益分配金金額</td> <td>I=F × H/10,000</td> <td>3,129,916円</td> </tr> </tbody> </table>	項目			費用控除後の配当等収益額	A	3,958,725円	費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円	収益調整金額	C	221,819,311円	分配準備積立金額	D	27,683,305円	当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	253,461,341円	当ファンドの期末残存口数	F	391,239,607口	10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F × 10,000	6,478円	10,000口当たり分配金額	H	80円	収益分配金金額	I=F × H/10,000	3,129,916円
項目																																																													
費用控除後の配当等収益額	A	4,614,318円																																																											
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円																																																											
収益調整金額	C	271,127,707円																																																											
分配準備積立金額	D	35,731,583円																																																											
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	311,473,608円																																																											
当ファンドの期末残存口数	F	490,338,369口																																																											
10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F × 10,000	6,352円																																																											
10,000口当たり分配金額	H	80円																																																											
収益分配金金額	I=F × H/10,000	3,922,706円																																																											
項目																																																													
費用控除後の配当等収益額	A	3,958,725円																																																											
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円																																																											
収益調整金額	C	221,819,311円																																																											
分配準備積立金額	D	27,683,305円																																																											
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	253,461,341円																																																											
当ファンドの期末残存口数	F	391,239,607口																																																											
10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F × 10,000	6,478円																																																											
10,000口当たり分配金額	H	80円																																																											
収益分配金金額	I=F × H/10,000	3,129,916円																																																											
平成28年 8月18日から平成28年 9月20日まで	平成29年 2月18日から平成29年 3月17日まで																																																												
<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> </table>	項目			<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> </table>	項目																																																								
項目																																																													
項目																																																													

費用控除後の配当等収益額	A	4,481,725円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円
収益調整金額	C	262,579,211円
分配準備積立金額	D	34,744,964円
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	301,805,900円
当ファンドの期末残存口数	F	473,919,458口
10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F × 10,000	6,368円
10,000口当たり分配金額	H	80円
収益分配金金額	I=F × H/10,000	3,791,355円

平成28年 9月21日から平成28年10月17日まで

項目		
費用控除後の配当等収益額	A	4,686,645円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円
収益調整金額	C	259,511,082円
分配準備積立金額	D	34,206,061円
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	298,403,788円
当ファンドの期末残存口数	F	467,006,395口
10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F × 10,000	6,389円
10,000口当たり分配金額	H	80円
収益分配金金額	I=F × H/10,000	3,736,051円

平成28年10月18日から平成28年11月17日まで

項目		
費用控除後の配当等収益額	A	4,480,501円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円
収益調整金額	C	259,083,464円
分配準備積立金額	D	33,931,583円
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	297,495,548円
当ファンドの期末残存口数	F	464,308,772口
10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F × 10,000	6,407円
10,000口当たり分配金額	H	80円
収益分配金金額	I=F × H/10,000	3,714,470円

平成28年11月18日から平成28年12月19日まで

項目		
費用控除後の配当等収益額	A	4,811,033円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円
収益調整金額	C	257,972,405円
分配準備積立金額	D	34,455,814円
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	297,239,252円
当ファンドの期末残存口数	F	462,158,861口

費用控除後の配当等収益額	A	3,786,886円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円
収益調整金額	C	222,758,384円
分配準備積立金額	D	28,219,721円
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	254,764,991円
当ファンドの期末残存口数	F	392,229,794口
10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F × 10,000	6,495円
10,000口当たり分配金額	H	80円
収益分配金金額	I=F × H/10,000	3,137,838円

平成29年 3月18日から平成29年 4月17日まで

項目		
費用控除後の配当等収益額	A	3,650,829円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円
収益調整金額	C	221,137,775円
分配準備積立金額	D	26,724,786円
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	251,513,390円
当ファンドの期末残存口数	F	386,103,798口
10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F × 10,000	6,514円
10,000口当たり分配金額	H	80円
収益分配金金額	I=F × H/10,000	3,088,830円

平成29年 4月18日から平成29年 5月17日まで

項目		
費用控除後の配当等収益額	A	3,708,155円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円
収益調整金額	C	228,942,560円
分配準備積立金額	D	26,698,648円
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	259,349,363円
当ファンドの期末残存口数	F	397,080,020口
10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F × 10,000	6,531円
10,000口当たり分配金額	H	80円
収益分配金金額	I=F × H/10,000	3,176,640円

平成29年 5月18日から平成29年 6月19日まで

項目		
費用控除後の配当等収益額	A	3,757,317円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円
収益調整金額	C	210,163,138円
分配準備積立金額	D	24,963,832円
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	238,884,287円
当ファンドの期末残存口数	F	364,310,149口

10,000口当たり収益分配対象額	$G=E/F \times 10,000$	6,431円	10,000口当たり収益分配対象額	$G=E/F \times 10,000$	6,557円
10,000口当たり分配金額	H	80円	10,000口当たり分配金額	H	80円
収益分配金金額	$I=F \times H/10,000$	3,697,270円	収益分配金金額	$I=F \times H/10,000$	2,914,481円

(金融商品に関する注記)

(1)金融商品の状況に関する事項

前期 自 平成28年 6月18日 至 平成28年12月19日	当期 自 平成28年12月20日 至 平成29年 6月19日
<p>1.金融商品に対する取組方針</p> <p>当ファンドは、投資信託及び投資法人に関する法律第2条第4項に定める証券投資信託であり、信託約款に規定する運用の基本方針に従い、有価証券等の金融商品に対して投資として運用することを目的としております。</p> <p>2.金融商品の内容及びその金融商品に係るリスク</p> <p>当ファンドが保有する金融商品の種類は、有価証券、コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務であります。</p> <p>当ファンドが保有する有価証券の詳細は、(その他の注記)の2 有価証券関係に記載しております。</p> <p>これらは、REITの価格変動リスク、為替変動リスク、金利変動リスクなどの市場リスク、信用リスク及び流動性リスクにさらされております。</p> <p>3.金融商品に係るリスク管理体制</p> <p>委託会社においては、独立した投資リスク管理に関する委員会を設け、パフォーマンスの考査及び運用リスクの管理を行なっております。</p> <p>市場リスクの管理</p> <p>市場リスクに関しては、資産配分等の状況を常時、分析・把握し、投資方針に沿っているか等の管理を行なっております。</p> <p>信用リスクの管理</p> <p>信用リスクに関しては、発行体や取引先の財務状況等に関する情報収集・分析を常時、継続し、格付等の信用度に応じた組入制限等の管理を行なっております。</p> <p>流動性リスクの管理</p> <p>流動性リスクに関しては、必要に応じて市場流動性の状況を把握し、取引量や組入比率等の管理を行なっております。</p>	<p>1.金融商品に対する取組方針</p> <p>同左</p> <p>2.金融商品の内容及びその金融商品に係るリスク</p> <p>同左</p> <p>3.金融商品に係るリスク管理体制</p> <p>同左</p>

(2)金融商品の時価等に関する事項

前期 平成28年12月19日現在	当期 平成29年 6月19日現在
1. 貸借対照表計上額、時価及び差額	1. 貸借対照表計上額、時価及び差額

貸借対照表上の金融商品は原則としてすべて時価で評価しているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。	同左
2. 時価の算定方法 投資信託受益証券 （重要な会計方針に係る事項に関する注記）に記載しております。 親投資信託受益証券 （重要な会計方針に係る事項に関する注記）に記載しております。 コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務 これらの科目は短期間で決済されるため、帳簿価額は時価と近似していることから、当該帳簿価額を時価としております。	2. 時価の算定方法 同左

（関連当事者との取引に関する注記）

前期 自 平成28年 6月18日 至 平成28年12月19日	当期 自 平成28年12月20日 至 平成29年 6月19日
市場価格その他当該取引に係る公正な価格を勘案して、一般の取引条件と異なる関連当事者との取引は行なわれていないため、該当事項はございません。	同左

（その他の注記）

1 元本の移動

前期 自 平成28年 6月18日 至 平成28年12月19日	当期 自 平成28年12月20日 至 平成29年 6月19日
期首元本額 443,897,050円	期首元本額 462,158,861円
期中追加設定元本額 96,737,199円	期中追加設定元本額 110,597,220円
期中一部解約元本額 78,475,388円	期中一部解約元本額 208,445,932円

2 有価証券関係

売買目的有価証券

種類	前期 自 平成28年 6月18日 至 平成28年12月19日	当期 自 平成28年12月20日 至 平成29年 6月19日
	損益に含まれた評価差額（円）	損益に含まれた評価差額（円）
投資信託受益証券	30,402,096	8,144,550
親投資信託受益証券	189	0
合計	30,401,907	8,144,550

3 デリバティブ取引関係

該当事項はありません。

(4) 附属明細表

第1 有価証券明細表

(1) 株式(平成29年 6月19日現在)

該当事項はありません。

(2) 株式以外の有価証券(平成29年 6月19日現在)

(単位:円)

種類	通貨	銘柄	券面総額	評価額	備考
投資信託受益証券	日本円	ノムラ・カレンシー・ファンド - ワールド・リート・ファンド - クラ スAUD	43,024	352,366,560	
	小計	銘柄数：1 組入時価比率：98.5%	43,024	352,366,560 99.5%	
	合計			352,366,560	
親投資信託受益証券	日本円	野村マネーインベストメント マ ザーファンド	1,893,950	1,902,851	
	小計	銘柄数：1 組入時価比率：0.5%	1,893,950	1,902,851 0.5%	
	合計			1,902,851	
合計				354,269,411	

(注1)投資信託受益証券、投資証券及び親投資信託受益証券における券面総額の数値は、証券数を表示しております。

(注2)比率は左より組入時価の純資産に対する比率、及び各小計欄の合計金額に対する比率であります。

第2 デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表

該当事項はありません。

野村ワールドリート通貨選択型ファンド（ブラジル・リアルコース）

(1) 貸借対照表

	前期 (平成28年12月19日現在)	当期 (平成29年 6月19日現在)
資産の部		
流動資産		
コール・ローン	80,369,449	68,781,720
投資信託受益証券	2,800,186,700	2,603,433,018
親投資信託受益証券	65,010,079	64,997,140
未収入金	45,105,693	7,400,295
流動資産合計	2,990,671,921	2,744,612,173
資産合計	2,990,671,921	2,744,612,173
負債の部		
流動負債		
未払金	-	202,536
未払収益分配金	38,546,764	37,577,041
未払解約金	45,096,628	1,840,374
未払受託者報酬	79,152	79,344
未払委託者報酬	2,480,152	2,486,062
未払利息	166	106
その他未払費用	7,905	7,926
流動負債合計	86,210,767	42,193,389
負債合計	86,210,767	42,193,389
純資産の部		
元本等		
元本	6,424,460,812	6,262,840,184
剰余金		
期末剰余金又は期末欠損金（ ）	3,519,999,658	3,560,421,400
（分配準備積立金）	347,141,167	332,577,007
元本等合計	2,904,461,154	2,702,418,784
純資産合計	2,904,461,154	2,702,418,784
負債純資産合計	2,990,671,921	2,744,612,173

(2) 損益及び剰余金計算書

(単位：円)

	前期 自 平成28年 6月18日 至 平成28年12月19日	当期 自 平成28年12月20日 至 平成29年 6月19日
営業収益		
受取配当金	316,968,910	271,596,750
有価証券売買等損益	281,490,539	159,810,156
営業収益合計	598,459,449	111,786,594
営業費用		
支払利息	27,239	18,894
受託者報酬	524,762	465,853
委託者報酬	16,442,513	14,596,472
その他費用	52,415	46,526
営業費用合計	17,046,929	15,127,745
営業利益又は営業損失（ ）	581,412,520	96,658,849
経常利益又は経常損失（ ）	581,412,520	96,658,849
当期純利益又は当期純損失（ ）	581,412,520	96,658,849
一部解約に伴う当期純利益金額の分配額又は一部解約に伴う当期純損失金額の分配額（ ）	19,834,968	2,084,493
期首剰余金又は期首欠損金（ ）	5,029,957,189	3,519,999,658
剰余金増加額又は欠損金減少額	1,365,123,374	494,522,171
当期一部解約に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額	1,365,123,374	494,522,171
剰余金減少額又は欠損金増加額	162,704,927	408,047,571
当期追加信託に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額	162,704,927	408,047,571
分配金	254,038,468	225,639,684

	前期	当期
自	平成28年 6月18日	自 平成28年12月20日
至	平成28年12月19日	至 平成29年 6月19日

期末剰余金又は期末欠損金()	3,519,999,658	3,560,421,400
-----------------	---------------	---------------

(3) 注記表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

1. 運用資産の評価基準及び評価方法	投資信託受益証券 原則として時価で評価しております。 時価評価にあたっては、市場価格のある有価証券についてはその最終相場(計算日に最終相場のない場合には、直近の日の最終相場)で評価しております。 市場価格のない有価証券については基準価額で評価しております。 親投資信託受益証券 基準価額で評価しております。
2. 費用・収益の計上基準	受取配当金 受取配当金は、投資信託受益証券の収益分配金を、原則として収益分配金落の売買が行なわれる日において、当該収益分配金額を計上しております。 有価証券売買等損益 約定日基準で計上しております。
3. 金融商品の時価等に関する事項の補足説明	金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。
4. その他	当該財務諸表の特定期間は、平成28年12月20日から平成29年 6月19日までとなっております。

(貸借対照表に関する注記)

前期 平成28年12月19日現在	当期 平成29年 6月19日現在
1. 特定期間の末日における受益権の総数 6,424,460,812口	1. 特定期間の末日における受益権の総数 6,262,840,184口
2. 投資信託財産計算規則第55条の6第1項第10号に規定する額 元本の欠損 3,519,999,658円	2. 投資信託財産計算規則第55条の6第1項第10号に規定する額 元本の欠損 3,560,421,400円
3. 特定期間の末日における1単位当たりの純資産の額 1口当たり純資産額 0.4521円 (10,000口当たり純資産額) (4,521円)	3. 特定期間の末日における1単位当たりの純資産の額 1口当たり純資産額 0.4315円 (10,000口当たり純資産額) (4,315円)

(損益及び剰余金計算書に関する注記)

前期 自 平成28年 6月18日 至 平成28年12月19日	当期 自 平成28年12月20日 至 平成29年 6月19日
1. 分配金の計算過程	1. 分配金の計算過程

平成28年 6月18日から平成28年 7月19日まで

項目		
費用控除後の配当等収益額	A	56,593,351円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円
収益調整金額	C	2,359,298,415円
分配準備積立金額	D	391,762,194円
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	2,807,653,960円
当ファンドの期末残存口数	F	8,006,646,105口
10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F × 10,000	3,506円
10,000口当たり分配金額	H	60円
収益分配金金額	I=F × H/10,000	48,039,876円

平成28年 7月20日から平成28年 8月17日まで

項目		
費用控除後の配当等収益額	A	60,186,579円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円
収益調整金額	C	2,185,145,539円
分配準備積立金額	D	367,100,229円
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	2,612,432,347円
当ファンドの期末残存口数	F	7,402,380,362口
10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F × 10,000	3,529円
10,000口当たり分配金額	H	60円
収益分配金金額	I=F × H/10,000	44,414,282円

平成28年 8月18日から平成28年 9月20日まで

項目		
費用控除後の配当等収益額	A	47,021,786円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円
収益調整金額	C	2,075,091,048円
分配準備積立金額	D	362,672,892円
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	2,484,785,726円
当ファンドの期末残存口数	F	7,025,560,366口
10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F × 10,000	3,536円
10,000口当たり分配金額	H	60円
収益分配金金額	I=F × H/10,000	42,153,362円

平成28年 9月21日から平成28年10月17日まで

項目		
費用控除後の配当等収益額	A	48,362,498円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円
収益調整金額	C	2,028,471,776円
分配準備積立金額	D	358,563,470円
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	2,435,397,744円

平成28年12月20日から平成29年 1月17日まで

項目		
費用控除後の配当等収益額	A	44,540,834円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円
収益調整金額	C	1,881,504,402円
分配準備積立金額	D	335,659,699円
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	2,261,704,935円
当ファンドの期末残存口数	F	6,320,814,197口
10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F × 10,000	3,578円
10,000口当たり分配金額	H	60円
収益分配金金額	I=F × H/10,000	37,924,885円

平成29年 1月18日から平成29年 2月17日まで

項目		
費用控除後の配当等収益額	A	43,516,693円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円
収益調整金額	C	1,845,370,707円
分配準備積立金額	D	332,381,587円
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	2,221,268,987円
当ファンドの期末残存口数	F	6,189,231,051口
10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F × 10,000	3,588円
10,000口当たり分配金額	H	60円
収益分配金金額	I=F × H/10,000	37,135,386円

平成29年 2月18日から平成29年 3月17日まで

項目		
費用控除後の配当等収益額	A	42,582,818円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円
収益調整金額	C	1,880,790,755円
分配準備積立金額	D	326,321,743円
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	2,249,695,316円
当ファンドの期末残存口数	F	6,253,427,360口
10,000口当たり収益分配対象額	G=E/F × 10,000	3,597円
10,000口当たり分配金額	H	60円
収益分配金金額	I=F × H/10,000	37,520,564円

平成29年 3月18日から平成29年 4月17日まで

項目		
費用控除後の配当等収益額	A	42,702,811円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円
収益調整金額	C	1,902,097,397円
分配準備積立金額	D	328,202,306円
当ファンドの分配対象収益額	E=A+B+C+D	2,273,002,514円

当ファンドの期末残存口数	F	6,865,121,568口
10,000口当たり収益分配対象額	$G=E/F \times 10,000$	3,547円
10,000口当たり分配金額	H	60円
収益分配金金額	$I=F \times H/10,000$	41,190,729円

平成28年10月18日から平成28年11月17日まで

項目		
費用控除後の配当等収益額	A	44,763,989円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円
収益調整金額	C	1,956,521,618円
分配準備積立金額	D	351,019,829円
当ファンドの分配対象収益額	$E=A+B+C+D$	2,352,305,436円
当ファンドの期末残存口数	F	6,615,575,968口
10,000口当たり収益分配対象額	$G=E/F \times 10,000$	3,555円
10,000口当たり分配金額	H	60円
収益分配金金額	$I=F \times H/10,000$	39,693,455円

平成28年11月18日から平成28年12月19日まで

項目		
費用控除後の配当等収益額	A	45,551,774円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円
収益調整金額	C	1,906,103,826円
分配準備積立金額	D	340,136,157円
当ファンドの分配対象収益額	$E=A+B+C+D$	2,291,791,757円
当ファンドの期末残存口数	F	6,424,460,812口
10,000口当たり収益分配対象額	$G=E/F \times 10,000$	3,567円
10,000口当たり分配金額	H	60円
収益分配金金額	$I=F \times H/10,000$	38,546,764円

当ファンドの期末残存口数	F	6,304,249,940口
10,000口当たり収益分配対象額	$G=E/F \times 10,000$	3,605円
10,000口当たり分配金額	H	60円
収益分配金金額	$I=F \times H/10,000$	37,825,499円

平成29年 4月18日から平成29年 5月17日まで

項目		
費用控除後の配当等収益額	A	42,981,171円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円
収益調整金額	C	1,898,847,523円
分配準備積立金額	D	326,643,963円
当ファンドの分配対象収益額	$E=A+B+C+D$	2,268,472,657円
当ファンドの期末残存口数	F	6,276,051,534口
10,000口当たり収益分配対象額	$G=E/F \times 10,000$	3,614円
10,000口当たり分配金額	H	60円
収益分配金金額	$I=F \times H/10,000$	37,656,309円

平成29年 5月18日から平成29年 6月19日まで

項目		
費用控除後の配当等収益額	A	42,758,067円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	B	0円
収益調整金額	C	1,898,840,540円
分配準備積立金額	D	327,395,981円
当ファンドの分配対象収益額	$E=A+B+C+D$	2,268,994,588円
当ファンドの期末残存口数	F	6,262,840,184口
10,000口当たり収益分配対象額	$G=E/F \times 10,000$	3,622円
10,000口当たり分配金額	H	60円
収益分配金金額	$I=F \times H/10,000$	37,577,041円

(金融商品に関する注記)

(1)金融商品の状況に関する事項

前期 自 平成28年 6月18日 至 平成28年12月19日	当期 自 平成28年12月20日 至 平成29年 6月19日
1. 金融商品に対する取組方針 当ファンドは、投資信託及び投資法人に関する法律第2条第4項に定める証券投資信託であり、信託約款に規定する運用の基本方針に従い、有価証券等の金融商品に対して投資として運用することを目的としております。	1. 金融商品に対する取組方針 同左
2. 金融商品の内容及びその金融商品に係るリスク	2. 金融商品の内容及びその金融商品に係るリスク

<p>当ファンドが保有する金融商品の種類は、有価証券、コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務であります。</p> <p>当ファンドが保有する有価証券の詳細は、(その他の注記)の2 有価証券関係に記載しております。</p> <p>これらは、REITの価格変動リスク、為替変動リスク、金利変動リスクなどの市場リスク、信用リスク及び流動性リスクにさらされております。</p> <p>3.金融商品に係るリスク管理体制</p> <p>委託会社においては、独立した投資リスク管理に関する委員会を設け、パフォーマンスの考査及び運用リスクの管理を行なっております。</p> <p>市場リスクの管理</p> <p>市場リスクに関しては、資産配分等の状況を常時、分析・把握し、投資方針に沿っているか等の管理を行なっております。</p> <p>信用リスクの管理</p> <p>信用リスクに関しては、発行体や取引先の財務状況等に関する情報収集・分析を常時、継続し、格付等の信用度に応じた組入制限等の管理を行なっております。</p> <p>流動性リスクの管理</p> <p>流動性リスクに関しては、必要に応じて市場流動性の状況を把握し、取引量や組入比率等の管理を行なっております。</p>	<p>同左</p> <p>3.金融商品に係るリスク管理体制</p> <p>同左</p>
---	---

(2)金融商品の時価等に関する事項

<p>前期</p> <p>平成28年12月19日現在</p>	<p>当期</p> <p>平成29年 6月19日現在</p>
<p>1. 貸借対照表計上額、時価及び差額</p> <p>貸借対照表上の金融商品は原則としてすべて時価で評価しているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。</p> <p>2. 時価の算定方法</p> <p>投資信託受益証券 (重要な会計方針に係る事項に関する注記)に記載しております。</p> <p>親投資信託受益証券 (重要な会計方針に係る事項に関する注記)に記載しております。</p> <p>コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務 これらの科目は短期間で決済されるため、帳簿価額は時価と近似していることから、当該帳簿価額を時価としております。</p>	<p>1. 貸借対照表計上額、時価及び差額</p> <p>同左</p> <p>2. 時価の算定方法</p> <p>同左</p>

(関連当事者との取引に関する注記)

<p>前期</p> <p>自 平成28年 6月18日</p> <p>至 平成28年12月19日</p>	<p>当期</p> <p>自 平成28年12月20日</p> <p>至 平成29年 6月19日</p>

市場価格その他当該取引に係る公正な価格を勘案して、一般の取引条件と異なる関連当事者との取引は行なわれていないため、該当事項はございません。	同左
---	----

(その他の注記)

1 元本の移動

	前期 自 平成28年 6月18日 至 平成28年12月19日	当期 自 平成28年12月20日 至 平成29年 6月19日
期首元本額	8,551,786,026円	期首元本額 6,424,460,812円
期中追加設定元本額	290,222,607円	期中追加設定元本額 761,668,910円
期中一部解約元本額	2,417,547,821円	期中一部解約元本額 923,289,538円

2 有価証券関係

売買目的有価証券

種類	前期 自 平成28年 6月18日 至 平成28年12月19日	当期 自 平成28年12月20日 至 平成29年 6月19日
	損益に含まれた評価差額（円）	損益に含まれた評価差額（円）
投資信託受益証券	310,664,648	149,720,044
親投資信託受益証券	6,469	0
合計	310,658,179	149,720,044

3 デリバティブ取引関係

該当事項はありません。

(4) 附属明細表

第1 有価証券明細表

(1) 株式(平成29年 6月19日現在)

該当事項はありません。

(2) 株式以外の有価証券(平成29年 6月19日現在)

(単位:円)

種類	通貨	銘柄	券面総額	評価額	備考
----	----	----	------	-----	----

投資信託受益証券	日本円	ノムラ・カレンシー・ファンド - ワールド・リート・ファンド - クラ スBRL	905,857	2,603,433,018	
	小計	銘柄数：1 組入時価比率：96.3%	905,857	2,603,433,018	97.6%
	合計			2,603,433,018	
親投資信託受益証券	日本円	野村マネーインベストメント マ ザーファンド	64,693,083	64,997,140	
	小計	銘柄数：1 組入時価比率：2.4%	64,693,083	64,997,140	2.4%
	合計			64,997,140	
合計				2,668,430,158	

(注1)投資信託受益証券、投資証券及び親投資信託受益証券における券面総額の数値は、証券数を表示しております。

(注2)比率は左より組入時価の純資産に対する比率、及び各小計欄の合計金額に対する比率であります。

第2 デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表

該当事項はありません。

(参考)

「野村ワールドリート通貨選択型ファンド」の各ファンドは「野村マネーインベストメント マザーファンド」受益証券を主要投資対象としており、貸借対照表の資産の部に計上された親投資信託受益証券は、すべて同親投資信託の受益証券です。

なお、以下に記載した状況は監査の対象外となっております。

野村マネーインベストメント マザーファンド

貸借対照表

(単位：円)

(平成29年 6月19日現在)

資産の部	
流動資産	
コール・ローン	63,880,667
地方債証券	5,016,695
特殊債証券	17,085,669
社債証券	23,008,811
未収利息	92,767
前払費用	89,227
流動資産合計	109,173,836
資産合計	109,173,836
負債の部	
流動負債	
未払利息	99
流動負債合計	99
負債合計	99

(平成29年 6月19日現在)

純資産の部	
元本等	
元本	108,668,314
剰余金	
期末剰余金又は期末欠損金（ ）	505,423
元本等合計	109,173,737
純資産合計	109,173,737
負債純資産合計	109,173,836

注記表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

1. 運用資産の評価基準及び評価方法	地方債証券、特殊債券、社債券 原則として時価で評価しております。
2. 費用・収益の計上基準	時価評価にあたっては、価格情報会社の提供する価額等で評価しております。 有価証券売買等損益 約定日基準で計上しております。
3. 金融商品の時価等に関する事項の補足説明	金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。

(貸借対照表に関する注記)

平成29年 6月19日現在	
1. 計算期間の末日における1単位当たりの純資産の額	
1口当たり純資産額	1.0047円
(10,000口当たり純資産額)	(10,047円)

(金融商品に関する注記)

(1)金融商品の状況に関する事項

自 平成28年12月20日 至 平成29年 6月19日
<p>1. 金融商品に対する取組方針</p> <p>当ファンドは、投資信託及び投資法人に関する法律第2条第4項に定める証券投資信託であり、信託約款に規定する運用の基本方針に従い、有価証券等の金融商品に対して投資として運用することを目的としております。</p> <p>2. 金融商品の内容及びその金融商品に係るリスク</p> <p>当ファンドが保有する金融商品の種類は、有価証券、コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務であります。当ファンドが保有する有価証券の詳細は、附属明細表に記載しております。</p> <p>これらは、金利変動リスクなどの市場リスク、信用リスク及び流動性リスクにさらされております。</p> <p>3. 金融商品に係るリスク管理体制</p>

委託会社においては、独立した投資リスク管理に関する委員会を設け、パフォーマンスの考査及び運用リスクの管理を行なっております。

市場リスクの管理

市場リスクに関しては、資産配分等の状況を常時、分析・把握し、投資方針に沿っているか等の管理を行なっております。

信用リスクの管理

信用リスクに関しては、発行体や取引先の財務状況等に関する情報収集・分析を常時、継続し、格付等の信用度に応じた組入制限等の管理を行なっております。

流動性リスクの管理

流動性リスクに関しては、必要に応じて市場流動性の状況を把握し、取引量や組入比率等の管理を行なっております。

(2) 金融商品の時価等に関する事項

平成29年 6月19日現在	
1. 貸借対照表計上額、時価及び差額	
貸借対照表上の金融商品は原則としてすべて時価で評価しているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありませ	
ん。	
2. 時価の算定方法	
地方債証券、特殊債券、社債券	
（重要な会計方針に係る事項に関する注記）に記載しております。	
コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務	
これらの科目は短期間で決済されるため、帳簿価額は時価と近似していることから、当該帳簿価額を時価としており	
ます。	

（その他の注記）

元本の移動及び期末元本額の内訳

平成29年 6月19日現在	
期首	平成28年12月20日
本報告書における開示対象ファンドの期首における当ファンドの元本額	108,668,314円
同期中における追加設定元本額	0円
同期中における一部解約元本額	0円
期末元本額	108,668,314円
期末元本額の内訳*	
北欧高利回り社債ファンド（為替ヘッジあり）2015-09	9,949,259円
北欧高利回り社債ファンド（為替ヘッジあり）2016-01	9,947,280円
野村ワールドリート通貨選択型ファンド（円コース）	486,013円
野村ワールドリート通貨選択型ファンド（米ドルコース）	1,794,269円
野村ワールドリート通貨選択型ファンド（豪ドルコース）	1,893,950円
野村ワールドリート通貨選択型ファンド（ブラジル・リアルコース）	64,693,083円
ノルディック社債ファンド 為替ヘッジあり	9,952,230円
ノルディック社債ファンド 為替ヘッジなし	9,952,230円

*は当該親投資信託受益証券を投資対象とする証券投資信託ごとの元本額

附属明細表

第1 有価証券明細表

(1) 株式(平成29年 6月19日現在)

該当事項はありません。

(2) 株式以外の有価証券(平成29年 6月19日現在)

(単位:円)

種類	通貨	銘柄	券面総額	評価額	備考
地方債証券	日本円	共同発行市場地方債 公募第53回	5,000,000	5,016,695	
	小計	銘柄数: 1 組入時価比率: 4.6%	5,000,000	5,016,695 11.1%	
	合計			5,016,695	
特殊債券	日本円	政保 地方公共団体金融機構債券 (6年) 第1回	10,000,000	10,011,929	
		中日本高速道路債券 政府保証第2 0回	7,000,000	7,073,740	
	小計	銘柄数: 2 組入時価比率: 15.6%	17,000,000	17,085,669 37.9%	
合計			17,085,669		
社債券	日本円	関西電力 第486回	8,000,000	8,006,491	
		東北電力 第463回	7,000,000	7,001,040	
		九州電力 第384回	8,000,000	8,001,280	
	小計	銘柄数: 3 組入時価比率: 21.1%	23,000,000	23,008,811 51.0%	
合計			23,008,811		
合計				45,111,175	

(注1) 比率は左より組入時価の純資産に対する比率、及び各小計欄の合計金額に対する比率であります。

第2 デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表

該当事項はありません。

2 ファンドの現況

純資産額計算書

野村ワールドリート通貨選択型ファンド（円コース）

平成29年 7月31日現在

資産総額	74,410,519円
負債総額	2,544,749円
純資産総額（ - ）	71,865,770円
発行済口数	63,619,737口
1口当たり純資産額（ / ）	1.1296円

野村ワールドリート通貨選択型ファンド（米ドルコース）

平成29年 7月31日現在

資産総額	532,989,634円
負債総額	198,836円
純資産総額（ - ）	532,790,798円
発行済口数	361,617,653口
1口当たり純資産額（ / ）	1.4734円

野村ワールドリート通貨選択型ファンド（豪ドルコース）

平成29年 7月31日現在

資産総額	360,384,922円
負債総額	1,927,824円
純資産総額（ - ）	358,457,098円
発行済口数	349,026,228口
1口当たり純資産額（ / ）	1.0270円

野村ワールドリート通貨選択型ファンド（ブラジル・リアルコース）

平成29年 7月31日現在

資産総額	2,765,465,633円
負債総額	29,941,373円
純資産総額（ - ）	2,735,524,260円
発行済口数	6,147,153,420口
1口当たり純資産額（ / ）	0.4450円

（参考）野村マネーインベストメント マザーファンド

平成29年 7月31日現在

資産総額	109,170,049円
負債総額	80円
純資産総額（ - ）	109,169,969円
発行済口数	108,668,314口
1口当たり純資産額（ / ）	1.0046円

第三部【委託会社等の情報】

第1【委託会社等の概況】

1 委託会社等の概況

< 更新後 >

(1) 資本金の額

平成29年7月末現在、17,180百万円

会社が発行する株式総数 20,000,000株

発行済株式総数 5,150,693株

過去5年間における主な資本金の額の増減：該当事項はありません。

(2) 会社の機構

(a) 会社の意思決定機構

当社は指名委員会等設置会社であり、会社の機関として株主総会、取締役会のほか代表執行役ならびに執行役、指名委員会、監査委員会および報酬委員会をおきますが、代表取締役および監査役会は設けません。各機関の権限は以下のとおりであります。

株主総会

株主により構成され、取締役・会計監査人の選任・解任、剰余金の配当の承認、定款変更・合併等の重要事項の承認等を行います。

取締役会

取締役により構成され、当社の業務につき意思決定を行います。また執行役・代表執行役、各委員会の委員等を選任し、取締役および執行役の職務の執行を監督します。

代表執行役・執行役

各執行役は、当社の業務の執行を行います。代表執行役は当社を代表いたします。また取締役会により委任された一定の事項について、代表執行役および執行役で構成される経営会議および執行役会が意思決定を行います。なお、当社は執行役員制度を導入しており、経営会議の構成員には執行役会で選定された執行役員が含まれます。

委員会

取締役3名以上（但し、各委員につき過半数は社外取締役であって執行役でない者）で構成され、イ）指名委員会は、株主総会に提出する取締役の選任・解任・不再任に関する議案の内容を決定し、ロ）報酬委員会は取締役・執行役が受ける個人別の報酬の決定に関する方針を定め、かつそれに従って各報酬の内容を決定し、ハ）監査委員会は取締役・執行役の職務執行の適法性ならびに妥当性に関する監査を行うとともに、株主総会に提出する会計監査人の選任・解任・不再任に関する議案の内容を決定します。

(b)投資信託の運用体制



2 事業の内容及び営業の概況

<更新後>

「投資信託及び投資法人に関する法律」に定める投資信託委託会社である委託者は、証券投資信託の設定を行うとともに「金融商品取引法」に定める金融商品取引業者としてその運用（投資運用業）を行っています。また「金融商品取引法」に定める第二種金融商品取引業に係る業務の一部及び投資助言業務を行っています。

委託者の運用する証券投資信託は平成29年6月30日現在次の通りです(ただし、親投資信託を除きます。)

種類	本数	純資産総額(百万円)
追加型株式投資信託	960	22,404,532
単位型株式投資信託	79	417,510
追加型公社債投資信託	14	5,790,236
単位型公社債投資信託	352	1,965,074
合計	1,405	30,577,352

3 委託会社等の経理状況

< 更新後 >

1. 委託会社である野村アセットマネジメント株式会社(以下「委託会社」という)の財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」(昭和38年大蔵省令第59号、以下「財務諸表等規則」という)、ならびに同規則第2条の規定に基づき、「金融商品取引業等に関する内閣府令」(平成19年8月6日内閣府令第52号)により作成しております。
2. 財務諸表の記載金額は、百万円未満の端数を切り捨てて表示しております。
3. 委託会社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、事業年度(平成28年4月1日から平成29年3月31日まで)の財務諸表について、新日本有限責任監査法人の監査を受けております。

(1) 貸借対照表

区分	注記 番号	前事業年度 (平成28年3月31日)	当事業年度 (平成29年3月31日)
		金額(百万円)	金額(百万円)
(資産の部)			
流動資産			
現金・預金		208	127
金銭の信託		55,341	52,247
有価証券		24,100	15,700
前払金		34	33
前払費用		2	2
未収入金		511	495
未収委託者報酬		14,131	16,287
未収運用受託報酬		7,309	7,481
繰延税金資産		2,028	1,661
その他		56	42
貸倒引当金		10	11
流動資産計		103,715	94,066
固定資産			
有形固定資産		1,176	1,001
建物	2	403	377

器具備品	2	773		624	
無形固定資産			7,681		7,185
ソフトウェア		7,680		7,184	
その他		0		0	
投資その他の資産			23,225		13,165
投資有価証券		9,216		1,233	
関係会社株式		10,958		8,124	
長期差入保証金		45		44	
長期前払費用		49		37	
前払年金費用		2,777		2,594	
繰延税金資産		-		960	
その他		176		170	
固定資産計			32,083		21,353
資産合計			135,799		115,419

区分	注記 番号	前事業年度 (平成28年3月31日)		当事業年度 (平成29年3月31日)	
		金額(百万円)		金額(百万円)	
(負債の部)					
流動負債					
預り金			118		98
未払金	1		11,855		10,401
未払収益分配金		1		1	
未払償還金		31		31	
未払手数料		4,537		5,242	
その他未払金		7,284		5,126	
未払費用	1		8,872		9,461
未払法人税等			1,838		714
前受収益			45		39
賞与引当金			4,809		4,339
流動負債計			27,538		25,055
固定負債					
退職給付引当金			2,708		2,947
時効後支払損引当金			526		538
繰延税金負債			68		-
固定負債計			3,303		3,485
負債合計			30,842		28,540
(純資産の部)					
株主資本					
資本金			99,606		86,837
資本剰余金			17,180		17,180
資本準備金		11,729		11,729	
その他資本剰余金		2,000		2,000	
利益剰余金			13,729		13,729
利益準備金		685		685	
その他利益剰余金		68,011		55,242	
別途積立金		24,606		24,606	
繰越利益剰余金		43,405		30,635	
評価・換算差額等			5,349		41
その他有価証券評価差額金			5,349		41

純資産合計		104,956	86,878
負債・純資産合計		135,799	115,419

(2) 損益計算書

区分	注記 番号	前事業年度	当事業年度
		(自 平成27年4月1日 至 平成28年3月31日)	(自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)
		金額(百万円)	金額(百万円)
営業収益			
委託者報酬		104,445	96,594
運用受託報酬		31,351	28,466
その他営業収益		219	266
営業収益計		136,016	125,327
営業費用			
支払手数料		46,531	39,785
広告宣伝費		1,008	1,011
公告費		0	0
調査費		28,068	26,758
調査費		4,900	5,095
委託調査費		23,167	21,662
委託計算費		1,148	1,290
営業雑経費		3,905	4,408
通信費		185	162
印刷費		969	940
協会費		78	76
諸経費		2,672	3,228
営業費用計		80,662	73,254
一般管理費			
給料		11,835	11,269
役員報酬	2	367	301
給料・手当		6,928	6,923
賞与		4,539	4,044
交際費		124	126
旅費交通費		488	469
租税公課		695	898
不動産賃借料		1,230	1,222
退職給付費用		1,063	1,223
固定資産減価償却費		2,589	2,730
諸経費		7,801	8,118
一般管理費計		25,827	26,059
営業利益		29,526	26,012

		前事業年度	当事業年度
		(自 平成27年4月1日 至 平成28年3月31日)	(自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)

区分	注記 番号	金額(百万円)		金額(百万円)	
営業外収益					
受取配当金	1	7,323		7,397	
受取利息		4		0	
金銭の信託運用益		-		684	
為替差益		281		-	
その他		382		379	
営業外収益計			7,991		8,461
営業外費用					
支払利息		-		17	
金銭の信託運用損		1,196		-	
時効後支払損引当金繰入額		72		16	
為替差損		-		33	
その他		52		9	
営業外費用計			1,321		77
経常利益			36,196		34,397
特別利益					
投資有価証券等売却益		50		26	
関係会社清算益		-		41	
株式報酬受入益		96		59	
特別利益計			146		126
特別損失					
投資有価証券売却損		95		-	
投資有価証券等評価損		-		6	
固定資産除却損	3	60		9	
特別損失計			156		15
税引前当期純利益			36,186		34,507
法人税、住民税及び事業税			9,806		7,147
法人税等調整額			744		1,722
当期純利益			25,635		25,637

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 平成27年4月1日 至 平成28年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本								株主 資本 合計
	資本金	資本剰余金			利益 準備金	利益剰余金			
		資本 準備金	その他 資本 剰余金	資本 剰余金 合計		その他利益剰余金		利益 剰余金 合計	
						別途 積立金	繰 越 利益 剰余金		
当期首残高	17,180	11,729	-	11,729	685	24,606	35,890	61,182	90,092
当期変動額									
剰余金の配当							19,933	19,933	19,933

当期純利益							25,635	25,635	25,635
合併による増加			2,000	2,000			144	144	2,144
吸収分割による増加							1,668	1,668	1,668
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)									
当期変動額合計	-	-	2,000	2,000	-	-	7,514	7,514	9,514
当期末残高	17,180	11,729	2,000	13,729	685	24,606	43,405	68,696	99,606

(単位：百万円)

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
当期首残高	6,893	6,893	96,985
当期変動額			
剰余金の配当			19,933
当期純利益			25,635
合併による増加			2,144
吸収分割による増加			1,668
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	1,543	1,543	1,543
当期変動額合計	1,543	1,543	7,971
当期末残高	5,349	5,349	104,956

当事業年度(自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本								株主資本合計
	資本金	資本剰余金			利益準備金	利益剰余金			
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計		その他利益剰余金		利益剰余金合計	
						別途積立金	繰越利益剰余金		
当期首残高	17,180	11,729	2,000	13,729	685	24,606	43,405	68,696	99,606
当期変動額									
剰余金の配当							38,407	38,407	38,407
当期純利益							25,637	25,637	25,637

株主資本以外の 項目の当期変動 額（純額）									
当期変動額合計	-	-	-	-	-	-	12,769	12,769	12,769
当期末残高	17,180	11,729	2,000	13,729	685	24,606	30,635	55,927	86,837

(単位：百万円)

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計	
当期首残高	5,349	5,349	104,956
当期変動額			
剰余金の配当			38,407
当期純利益			25,637
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）	5,308	5,308	5,308
当期変動額合計	5,308	5,308	18,078
当期末残高	41	41	86,878

[重要な会計方針]

1．有価証券の評価基準及び評価方法	<p>(1) 子会社株式及び関連会社株式 ... 移動平均法による原価法</p> <p>(2) その他有価証券 時価のあるもの ... 決算期末日の市場価格等に基づく時価法 (評価差額は全部純資産直入法により処理し、 売却原価は移動平均法により算定しております。) 時価のないもの ... 移動平均法による原価法</p>
2．金銭の信託の評価基準及び評価方法	時価法
3．固定資産の減価償却の方法	<p>(1) 有形固定資産 定率法を採用しております。ただし、平成10年4月1日以降に 取得した建物(附属設備を除く)、並びに平成28年4月1日以降に 取得した建物附属設備及び構築物については、定額法を採用して おります。 主な耐用年数は以下の通りであります。 建物 38～50年 附属設備 8～15年 構築物 20年 器具備品 4～15年</p> <p>(2) 無形固定資産及び投資その他の資産 定額法を採用しております。なお、自社利用のソフトウェアに ついては、社内における利用可能期間(5年)に基づく定額法に よっております。</p>
4．引当金の計上基準	<p>(1) 貸倒引当金 一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の 債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計 上しております。</p>

<p>5 . 消費税等の会計処理方法</p> <p>6 . 連結納税制度の適用</p>	<p>(2) 賞与引当金 賞与の支払いに備えるため、支払見込額を計上しております。</p> <p>(3) 退職給付引当金 従業員の退職給付に備えるため、退職一時金及び確定給付型企业年金について、当事業年度末における退職給付債務及び年金資産の見込額に基づき計上しております。 退職給付見込額の期間帰属方法 退職給付債務の算定にあたり、退職給付見込額を当事業年度末までの期間に帰属させる方法については、給付算定式基準によっております。 数理計算上の差異及び過去勤務費用の費用処理方法 確定給付型企业年金に係る数理計算上の差異は、その発生時の従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数による定額法により、発生した事業年度の翌期から費用処理することとしております。また、退職一時金に係る数理計算上の差異は、発生した事業年度の翌期に一括して費用処理することとしております。 退職一時金及び確定給付型企业年金に係る過去勤務費用は、その発生時の従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数による定額法により、発生した事業年度から費用処理することとしております。</p> <p>(4) 時効後支払損引当金 時効成立のため利益計上した収益分配金及び償還金について、受益者からの今後の支払請求に備えるため、過去の支払実績に基づく将来の支払見込額を計上しております。</p> <p>消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜き方式によっており、控除対象外消費税及び地方消費税は、当期の費用として処理しております。</p> <p>連結納税制度を適用しております。</p>
---	--

[会計方針の変更]

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号平成28年6月17日）を当会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。
なお、この変更による損益に与える影響は軽微であります。

[注記事項]

貸借対照表関係

前事業年度末 (平成28年3月31日)	当事業年度末 (平成29年3月31日)
<p>1 . 関係会社に対する資産及び負債 区分掲記されたもの以外で各科目に含まれているものは、次のとおりであります。</p>	<p>1 . 関係会社に対する資産及び負債 区分掲記されたもの以外で各科目に含まれているものは、次のとおりであります。</p>
<p>未払金 5,894百万円</p> <p>未払費用 1,151</p>	<p>未払金 4,438百万円</p> <p>未払費用 938</p>
<p>2 . 有形固定資産より控除した減価償却累計額</p> <p>建物 641百万円</p> <p>器具備品 3,132</p> <hr/> <p>合計 3,774</p>	<p>2 . 有形固定資産より控除した減価償却累計額</p> <p>建物 681百万円</p> <p>器具備品 3,331</p> <hr/> <p>合計 4,013</p>

損益計算書関係

前事業年度 (自 平成27年 4月 1日 至 平成28年 3月31日)	当事業年度 (自 平成28年 4月 1日 至 平成29年 3月31日)
1. 関係会社に係る注記 区分掲記されたもの以外で関係会社に対するものは、次のとおりであります。 受取配当金 7,081百万円 支払利息 -	1. 関係会社に係る注記 区分掲記されたもの以外で関係会社に対するものは、次のとおりであります。 受取配当金 5,252百万円 支払利息 17
2. 役員報酬の範囲額 役員報酬は報酬委員会決議に基づき支給されております。	2. 役員報酬の範囲額 (同左)
3. 固定資産除却損 建物 1百万円 器具備品 4 ソフトウェア 54 ア 合計 60	3. 固定資産除却損 建物 -百万円 器具備品 0 ソフトウェア 9 ア 合計 9

株主資本等変動計算書関係

前事業年度(自 平成27年 4月 1日 至 平成28年 3月31日)

1. 発行済株式の種類及び総数に関する事項

株式の種類	当事業年度期首株式数	当事業年度増加株式数	当事業年度減少株式数	当事業年度末株式数
普通株式	5,150,693株	-	-	5,150,693株

2. 剰余金の配当に関する事項

(1) 配当金支払額

平成27年 5月15日開催の取締役会において、次のとおり決議しております。

普通株式の配当に関する事項

配当金の総額	19,933百万円
配当の原資	利益剰余金
1株当たり配当額	3,870円
基準日	平成27年 3月31日
効力発生日	平成27年 6月26日

(2) 基準日が当事業年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌事業年度となるもの

平成28年 5月13日開催の取締役会において、次のとおり決議しております。

普通株式の配当に関する事項

配当金の総額	34,973百万円
配当の原資	利益剰余金
1株当たり配当額	6,790円
基準日	平成28年 3月31日
効力発生日	平成28年 6月24日

当事業年度(自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)

1. 発行済株式の種類及び総数に関する事項

株式の種類	当事業年度期首株式数	当事業年度増加株式数	当事業年度減少株式数	当事業年度末株式数
普通株式	5,150,693株	-	-	5,150,693株

2. 剰余金の配当に関する事項

(1) 配当金支払額

配当財産が金銭である場合における当該金銭の総額

平成28年5月13日開催の取締役会において、次のとおり決議しております。

普通株式の配当に関する事項

配当金の総額 34,973百万円

配当の原資 利益剰余金

1株当たり配当額 6,790円

基準日 平成28年3月31日

効力発生日 平成28年6月24日

配当財産が金銭以外である場合における当該財産の総額

平成28年10月27日開催の臨時株主総会において、次のとおり決議しております。

普通株式の配当に関する事項

配当財産の種類 株式会社野村総合研究所の株式

配当財産の帳簿価額 3,064百万円

1株当たり配当額 594円87銭

効力発生日 平成28年10月27日

配当財産の種類 株式会社ジャフコの株式

配当財産の帳簿価額 282百万円

1株当たり配当額 54円93銭

効力発生日 平成28年10月27日

配当財産の種類 朝日火災海上保険株式会社の株式

配当財産の帳簿価額 87百万円

1株当たり配当額 16円89銭

効力発生日 平成28年10月27日

(2) 基準日が当事業年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌事業年度となるもの

平成29年5月12日開催の取締役会において、次のとおり決議しております。

普通株式の配当に関する事項

配当金の総額 25,598百万円

配当の原資 利益剰余金

1株当たり配当額 4,970円

基準日 平成29年3月31日

効力発生日 平成29年6月23日

金融商品関係

前事業年度（自 平成27年4月1日 至 平成28年3月31日）

1. 金融商品の状況に関する事項

(1) 金融商品に対する取組方針

当社は、投資信託の運用を業として行っており、自社が運用する投資信託の商品性維持等を目的として、当該投資信託を特定金外信託を通じ保有しております。特定金外信託を通じ行っているデリバティブ取引については、保有する投資信託にかかる将来の為替及び価格の変動によるリスクの軽減を目的としているため、投資信託保有残高の範囲内で行うこととし、投機目的のためのデリバティブ取引は行わない方針であります。

なお、余資運用に関しては、譲渡性預金等安全性の高い金融資産で運用し、資金調達に関しては、親会社である野村ホールディングス株式会社及びその他の金融機関からの短期借入による方針であります。

(2) 金融商品の内容及びそのリスク並びにリスク管理体制

特定金外信託を通じ保有している投資信託につきましては、為替変動リスクや価格変動リスクに晒されておりますが、その大部分については為替予約、株価指数先物、債券先物などのデリバティブ取引によりヘッジしております。また、株式につきましては、政策投資として、あるいは業務上の関係維持を目的として保有しておりますが、価格変動リスクに晒されております。有価証券及び投資有価証券並びに金銭の信託については財務部が管理しており、定期的に時価や発行体の財務状況を把握し、その内容を経営に報告しております。

デリバティブ取引の実行及び管理については、財務部及び運用調査本部で行っております。デリバティブ取引については、取引相手先として高格付を有する金融機関に限定しているため信用リスクはほとんどないと認識しております。財務部は月に一度デリバティブ取引の内容を含んだ財務報告を経営会議で行っております。

また、営業債権である未収委託者報酬は、投資信託約款に基づき、信託財産から委託者に対して支払われる信託報酬の未払金額であり、信託財産は受託銀行において分別保管されているため、信用リスクはほとんどないと認識しております。同じく営業債権である未収運用受託報酬は、投資顧問契約に基づき、運用受託者に対して支払われる報酬の未払金額であります。この未収運用受託報酬は、信託財産から運用受託者に対して支払われる場合は、信託財産が信託銀行において分別保管されているため、信用リスクはほとんどないと認識しており、顧客から直接運用受託者に対して支払われる場合は、当該顧客の信用リスクにさらされておりますが、顧客ごとに決済期日および残高を管理することにより、回収懸念の早期把握や回収リスクの軽減を図っております。

2. 金融商品の時価等に関する事項

平成28年3月31日における貸借対照表計上額、時価、及びこれらの差額については次のとおりです。なお、時価を把握することが極めて困難と認められるものは、次表には含めておりません。

(単位：百万円)

	貸借対照表計上額	時価	差額
(1)現金・預金	208	208	-
(2)金銭の信託	55,341	55,341	-

(3)未収委託者報酬	14,131	14,131	-
(4)未収運用受託報酬	7,309	7,309	-
(5)有価証券及び投資有価証券	32,071	32,071	-
其他有価証券	32,071	32,071	-
(6)関係会社株式	3,064	180,880	177,816
資産計	112,127	289,944	177,816
(7)未払金	11,855	11,855	-
未払収益分配金	1	1	-
未払償還金	31	31	-
未払手数料	4,537	4,537	-
其他未払金	7,284	7,284	-
(8)未払費用	8,872	8,872	-
(9)未払法人税等	1,838	1,838	-
負債計	22,566	22,566	-

注1：金融商品の時価の算定方法並びに有価証券に関する事項

(1) 現金・預金

短期間で決済されるため、時価は帳簿価額とほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

(2) 金銭の信託

信託財産は、主として投資信託、デリバティブ取引、その他の資産（コールローン・委託証拠金等）で構成されております。これらの時価について投資信託については基準価額、デリバティブ取引に関しては、上場デリバティブ取引は取引所の価格、為替予約取引は先物為替相場、店頭デリバティブ取引は取引先金融機関から提示された価格等によっております。また、その他の資産については短期間で決済されるため、時価は帳簿価額とほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

(3)未収委託者報酬、(4)未収運用受託報酬

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額とほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

(5) 有価証券及び投資有価証券

 其他有価証券

これらの時価について、株式は取引所の価格によっております。また、譲渡性預金は短期間で決済されるため、時価は帳簿価額とほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

また、保有目的ごとの有価証券に関する注記事項については、「有価証券関係」注記を参照ください。

(6) 関係会社株式

取引所の価格によっております。

(7) 未払金、(8) 未払費用、(9) 未払法人税等

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額とほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっており

ます。

注2：非上場株式等（貸借対照表計上額：投資有価証券1,245百万円、関係会社株式7,894百万円）は、市場価格がなく、かつ将来キャッシュフローを見積もることなどができず、時価を把握することが極めて困難と認められるため、「有価証券及び投資有価証券」には含めておりません。

注3：金銭債権及び満期のある有価証券の決算日後の償還予定額

（単位：百万円）

	1年以内	1年超 5年以内	5年超 10年以内	10年超
預金	208	-	-	-
金銭の信託	55,341	-	-	-
未収委託者報酬	14,131	-	-	-
未収運用受託報酬	7,309	-	-	-
有価証券	24,100	-	-	-
合計	101,091	-	-	-

当事業年度（自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日）

1. 金融商品の状況に関する事項

（1）金融商品に対する取組方針

当社は、投資信託の運用を業として行っており、自らが運用する投資信託の商品性維持等を目的として、当該投資信託を特定金外信託を通じ保有しております。特定金外信託を通じ行っているデリバティブ取引については、保有する投資信託にかかる将来の為替及び価格の変動によるリスクの軽減を目的としているため、投資信託保有残高の範囲内で行うこととし、投機目的のためのデリバティブ取引は行わない方針であります。

なお、余資運用に関しては、譲渡性預金等安全性の高い金融資産で運用し、資金調達に関しては、親会社である野村ホールディングス株式会社及びその他の金融機関からの短期借入による方針であります。

（2）金融商品の内容及びそのリスク並びにリスク管理体制

特定金外信託を通じ保有している投資信託につきましては、為替変動リスクや価格変動リスクに晒されておりますが、その大部分については為替予約、株価指数先物、債券先物などのデリバティブ取引によりヘッジしております。また、株式につきましては、政策投資として、あるいは業務上の関係維持を目的として保有しておりますが、価格変動リスクに晒されております。有価証券及び投資有価証券並びに金銭の信託については財務部が管理しており、定期的に時価や発行体の財務状況を把握し、その内容を経営に報告しております。

デリバティブ取引の実行及び管理については、財務部及び運用調査本部で行っております。デリバティブ取引については、取引相手先として高格付を有する金融機関に限定しているため信用リスクはほとんどないと認識しております。財務部は月に一度デリバティブ取引の内容を含んだ財務報告を経営会議で行っております。

また、営業債権である未収委託者報酬は、投資信託約款に基づき、信託財産から委託者に対して支払われる信託報酬の未払金額であり、信託財産は受託銀行において分別保管されているため、信用リスクはほとんどないと認識しております。同じく営業債権である未収運用受託報酬は、投資顧問契約に基づき、運用受託者に対して支払われる報酬の未払金額であります。この未収運用受託報酬は、信託財産から運用受託者に対して支払われる場合は、信託財産が信託銀行において分別保管されているため、信用リスクはほとんどないと認識しており、顧客から直接運用受託者に対して支払われる場合は、当該顧客の信用リスクにさらされておりますが、顧客ごとに決済期日および残高を管理することにより、回収懸念の早期把握や回収リスクの軽減を図っております。

2. 金融商品の時価等に関する事項

平成29年3月31日における貸借対照表計上額、時価、及びこれらの差額については次のとおりです。なお、時価を把握することが極めて困難と認められるものは、次表には含めておりません。

(単位：百万円)

	貸借対照表計上額	時価	差額
(1)現金・預金	127	127	-
(2)金銭の信託	52,247	52,247	-
(3)未収委託者報酬	16,287	16,287	-
(4)未収運用受託報酬	7,481	7,481	-
(5)有価証券及び投資有価証券	15,700	15,700	-
その他有価証券	15,700	15,700	-
資産計	91,843	91,843	-
(6)未払金	10,401	10,401	-
未払収益分配金	1	1	-
未払償還金	31	31	-
未払手数料	5,242	5,242	-
その他未払金	5,126	5,126	-
(7)未払費用	9,461	9,461	-
(8)未払法人税等	714	714	-
負債計	20,578	20,578	-

注1：金融商品の時価の算定方法並びに有価証券に関する事項

(1) 現金・預金

短期間で決済されるため、時価は帳簿価額とほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

(2) 金銭の信託

信託財産は、主として投資信託、デリバティブ取引、その他の資産（コールローン・委託証拠金等）で構成されております。これらの時価について投資信託については基準価額、デリバティブ取引に関しては、上場デリバティブ取引は取引所の価格、為替予約取引は先物為替相場、店頭デリバティブ取引は取引先金融機関から提示された価格等によっております。また、その他の資産については短期間で決済されるため、時価は帳簿価額とほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

(3)未収委託者報酬、(4)未収運用受託報酬

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額とほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

(5) 有価証券及び投資有価証券

その他有価証券

譲渡性預金は短期間で決済されるため、時価は帳簿価額とほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。また、保有目的ごとの有価証券に関する注記事項については、「有価証券関係」注記を参照ください。

(6) 未払金、(7) 未払費用、(8) 未払法人税等

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額とほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

注2：非上場株式等（貸借対照表計上額：投資有価証券1,233百万円、関係会社株式8,124百万円）は、市場価格がなく、かつ将来キャッシュフローを見積もることなどができず、時価を把握することが極めて困難と認められるため、「有価証券及び投資有価証券」には含めておりません。

注3：金銭債権及び満期のある有価証券の決算日後の償還予定額

(単位：百万円)

	1年以内	1年超 5年以内	5年超 10年以内	10年超
預金	127	-	-	-
金銭の信託	52,247	-	-	-
未収委託者報酬	16,287	-	-	-
未収運用受託報酬	7,481	-	-	-
有価証券	15,700	-	-	-
合計	91,843	-	-	-

有価証券関係

前事業年度（自 平成27年4月1日 至 平成28年3月31日）

1．売買目的有価証券(平成28年3月31日)

該当事項はありません。

2．満期保有目的の債券(平成28年3月31日)

該当事項はありません。

3．子会社株式及び関連会社株式(平成28年3月31日)

区分	貸借対照表 計上額 (百万円)	時価 (百万円)	差額 (百万円)
関連会社株式	3,064	180,880	177,816
合計	3,064	180,880	177,816

4．その他有価証券(平成28年3月31日)

区分	貸借対照表 計上額 (百万円)	取得原価 (百万円)	差額 (百万円)
貸借対照表計上額が取得原価を超えるもの			
株式	7,971	282	7,688
小計	7,971	282	7,688
貸借対照表計上額が取得原価を超えないもの			
譲渡性預金	24,100	24,100	-
小計	24,100	24,100	-
合計	32,071	24,382	7,688

5．事業年度中に売却したその他有価証券（自平成27年4月1日 至平成28年3月31日）

区分	売却額(百万円)	売却益の合計額(百万円)	売却損の合計額(百万円)
株式	135	-	95
合計	135	-	95

当事業年度（自平成28年4月1日 至平成29年3月31日）

1．売買目的有価証券(平成29年3月31日)

該当事項はありません。

2．満期保有目的の債券(平成29年3月31日)

該当事項はありません。

3．子会社株式及び関連会社株式(平成29年3月31日)

該当事項はありません。

4．その他有価証券(平成29年3月31日)

区分	貸借対照表 計上額 (百万円)	取得原価 (百万円)	差額 (百万円)
----	-----------------------	---------------	-------------

貸借対照表計上額が取得原価を超えるもの			
株式	-	-	-
小計	-	-	-
貸借対照表計上額が取得原価を超えないもの			
譲渡性預金	15,700	15,700	-
小計	15,700	15,700	-
合計	15,700	15,700	-

5. 事業年度中に売却したその他有価証券（自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日）
該当事項はありません。

退職給付関係

前事業年度(自 平成27年4月1日 至 平成28年3月31日)	
1. 採用している退職給付制度の概要	
当社は、確定給付型の制度として確定給付型企業年金制度及び退職一時金制度を、また確定拠出型の制度として確定拠出年金制度を設けております。	
2. 確定給付制度	
(1) 退職給付債務の期首残高と期末残高の調整表	
退職給付債務の期首残高	17,218 百万円
勤務費用	811
利息費用	181
数理計算上の差異の発生額	1,150
退職給付の支払額	654
その他	13
退職給付債務の期末残高	18,692
(2) 年金資産の期首残高と期末残高の調整表	
年金資産の期首残高	16,117 百万円
期待運用収益	402
数理計算上の差異の発生額	711
事業主からの拠出額	511
退職給付の支払額	555
年金資産の期末残高	15,764

(3) 退職給付債務及び年金資産の期末残高と貸借対照表に計上された退職給付引当金

及び前払年金費用の調整表

積立型制度の退職給付債務	15,775 百万円
年金資産	15,764

	11
非積立型制度の退職給付債務	2,917
未積立退職給付債務	2,928
未認識数理計算上の差異	3,409
未認識過去勤務費用	411
貸借対照表上に計上された負債と資産の純額	69

退職給付引当金	2,708
前払年金費用	2,777
貸借対照表上に計上された負債と資産の純額	69

(4) 退職給付費用及びその内訳項目の金額

勤務費用	811 百万円
利息費用	181
期待運用収益	402
数理計算上の差異の費用処理額	314
過去勤務費用の費用処理額	40
確定給付制度に係る退職給付費用	863

(5) 年金資産に関する事項

年金資産の主な内容

年金資産合計に対する主な分類毎の比率は、次の通りです。

債券	43%
株式	43%
生保一般勘定	13%
その他	1%
合計	100%

長期期待運用収益率の設定方法

年金資産の長期期待運用収益率を決定するため、現在及び予想される年金資産の配分と、年金資産を構成する多様な資産からの現在及び将来期待される長期の収益率を考慮しております。

(6) 数理計算上の計算基礎に関する事項

当事業年度末における主要な数理計算上の計算基礎

確定給付型企业年金制度の割引率	0.7%
退職一時金制度の割引率	0.5%
長期期待運用収益率	2.5%

3. 確定拠出制度

当社の確定拠出制度への要拠出額は、191百万円でした。

当事業年度(自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)

1. 採用している退職給付制度の概要

当社は、確定給付型の制度として確定給付型企业年金制度及び退職一時金制度を、また確定拠出型の制度として確定拠出年金制度を設けております。

2. 確定給付制度

(1) 退職給付債務の期首残高と期末残高の調整表

退職給付債務の期首残高	18,692 百万円
勤務費用	889
利息費用	125
数理計算上の差異の発生額	464
退職給付の支払額	634
その他	8
退職給付債務の期末残高	19,546

(2) 年金資産の期首残高と期末残高の調整表

年金資産の期首残高	15,764 百万円
期待運用収益	394
数理計算上の差異の発生額	468
事業主からの拠出額	507
退職給付の支払額	562
年金資産の期末残高	16,572

(3) 退職給付債務及び年金資産の期末残高と貸借対照表に計上された退職給付引当金及び前払年金費用の調整表

積立型制度の退職給付債務	16,578 百万円
年金資産	16,572
	5
非積立型制度の退職給付債務	2,967
未積立退職給付債務	2,973
未認識数理計算上の差異	2,992
未認識過去勤務費用	371
貸借対照表上に計上された負債と資産の純額	352
退職給付引当金	2,947
前払年金費用	2,594
貸借対照表上に計上された負債と資産の純額	352

(4) 退職給付費用及びその内訳項目の金額

勤務費用	889 百万円
利息費用	125
期待運用収益	394
数理計算上の差異の費用処理額	412
過去勤務費用の費用処理額	40
確定給付制度に係る退職給付費用	993

(5) 年金資産に関する事項

年金資産の主な内容

年金資産合計に対する主な分類毎の比率は、次の通りです。

債券	49%
株式	39%
生保一般勘定	12%
その他	0%
合計	100%

長期期待運用収益率の設定方法

年金資産の長期期待運用収益率を決定するため、現在及び予想される年金資産の配分と、年金資産を構成する多様な資産からの現在及び将来期待される長期の収益率を考慮しております。

(6) 数理計算上の計算基礎に関する事項

当事業年度末における主要な数理計算上の計算基礎

確定給付型企業年金制度の割引率	0.9%
退職一時金制度の割引率	0.6%
長期期待運用収益率	2.5%

3. 確定拠出制度

当社の確定拠出制度への要拠出額は、195百万円でした。

税効果会計関係

前事業年度末 (平成28年3月31日)	当事業年度末 (平成29年3月31日)																																																																																				
<p>1. 繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳</p> <table border="0"> <tr> <td>繰延税金資産</td> <td style="text-align: right;">百万円</td> </tr> <tr> <td>賞与引当金</td> <td style="text-align: right;">1,490</td> </tr> <tr> <td>退職給付引当金</td> <td style="text-align: right;">839</td> </tr> <tr> <td>投資有価証券評価減</td> <td style="text-align: right;">460</td> </tr> <tr> <td>関係会社株式評価減</td> <td style="text-align: right;">1,676</td> </tr> <tr> <td>ゴルフ会員権評価減</td> <td style="text-align: right;">240</td> </tr> <tr> <td>減価償却超過額</td> <td style="text-align: right;">177</td> </tr> <tr> <td>時効後支払損引当金</td> <td style="text-align: right;">163</td> </tr> <tr> <td>子会社株式売却損</td> <td style="text-align: right;">148</td> </tr> <tr> <td>未払事業税</td> <td style="text-align: right;">350</td> </tr> <tr> <td>関係会社株式譲渡益</td> <td style="text-align: right;">120</td> </tr> <tr> <td>未払社会保険料</td> <td style="text-align: right;">89</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td style="text-align: right;">251</td> </tr> <tr> <td>繰延税金資産小計</td> <td style="text-align: right;">6,678</td> </tr> <tr> <td>評価性引当額</td> <td style="text-align: right;">1,453</td> </tr> <tr> <td>繰延税金資産合計</td> <td style="text-align: right;">5,224</td> </tr> <tr> <td>繰延税金負債</td> <td></td> </tr> <tr> <td> その他有価証券評価差額金</td> <td style="text-align: right;">2,403</td> </tr> <tr> <td> 前払年金費用</td> <td style="text-align: right;">861</td> </tr> <tr> <td>繰延税金負債合計</td> <td style="text-align: right;">3,264</td> </tr> <tr> <td>繰延税金資産の純額</td> <td style="text-align: right;">1,959</td> </tr> </table>	繰延税金資産	百万円	賞与引当金	1,490	退職給付引当金	839	投資有価証券評価減	460	関係会社株式評価減	1,676	ゴルフ会員権評価減	240	減価償却超過額	177	時効後支払損引当金	163	子会社株式売却損	148	未払事業税	350	関係会社株式譲渡益	120	未払社会保険料	89	その他	251	繰延税金資産小計	6,678	評価性引当額	1,453	繰延税金資産合計	5,224	繰延税金負債		その他有価証券評価差額金	2,403	前払年金費用	861	繰延税金負債合計	3,264	繰延税金資産の純額	1,959	<p>1. 繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳</p> <table border="0"> <tr> <td>繰延税金資産</td> <td style="text-align: right;">百万円</td> </tr> <tr> <td>賞与引当金</td> <td style="text-align: right;">1,345</td> </tr> <tr> <td>退職給付引当金</td> <td style="text-align: right;">913</td> </tr> <tr> <td>投資有価証券評価減</td> <td style="text-align: right;">417</td> </tr> <tr> <td>関係会社株式評価減</td> <td style="text-align: right;">247</td> </tr> <tr> <td>ゴルフ会員権評価減</td> <td style="text-align: right;">212</td> </tr> <tr> <td>減価償却超過額</td> <td style="text-align: right;">171</td> </tr> <tr> <td>時効後支払損引当金</td> <td style="text-align: right;">166</td> </tr> <tr> <td>子会社株式売却損</td> <td style="text-align: right;">148</td> </tr> <tr> <td>未払事業税</td> <td style="text-align: right;">110</td> </tr> <tr> <td>関係会社株式譲渡益</td> <td style="text-align: right;">88</td> </tr> <tr> <td>未払社会保険料</td> <td style="text-align: right;">85</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td style="text-align: right;">274</td> </tr> <tr> <td>繰延税金資産小計</td> <td style="text-align: right;">4,183</td> </tr> <tr> <td>評価性引当額</td> <td style="text-align: right;">739</td> </tr> <tr> <td>繰延税金資産合計</td> <td style="text-align: right;">3,444</td> </tr> <tr> <td>繰延税金負債</td> <td></td> </tr> <tr> <td> その他有価証券評価差額金</td> <td style="text-align: right;">18</td> </tr> <tr> <td> 前払年金費用</td> <td style="text-align: right;">804</td> </tr> <tr> <td>繰延税金負債合計</td> <td style="text-align: right;">822</td> </tr> <tr> <td>繰延税金資産の純額</td> <td style="text-align: right;">2,621</td> </tr> </table>	繰延税金資産	百万円	賞与引当金	1,345	退職給付引当金	913	投資有価証券評価減	417	関係会社株式評価減	247	ゴルフ会員権評価減	212	減価償却超過額	171	時効後支払損引当金	166	子会社株式売却損	148	未払事業税	110	関係会社株式譲渡益	88	未払社会保険料	85	その他	274	繰延税金資産小計	4,183	評価性引当額	739	繰延税金資産合計	3,444	繰延税金負債		その他有価証券評価差額金	18	前払年金費用	804	繰延税金負債合計	822	繰延税金資産の純額	2,621
繰延税金資産	百万円																																																																																				
賞与引当金	1,490																																																																																				
退職給付引当金	839																																																																																				
投資有価証券評価減	460																																																																																				
関係会社株式評価減	1,676																																																																																				
ゴルフ会員権評価減	240																																																																																				
減価償却超過額	177																																																																																				
時効後支払損引当金	163																																																																																				
子会社株式売却損	148																																																																																				
未払事業税	350																																																																																				
関係会社株式譲渡益	120																																																																																				
未払社会保険料	89																																																																																				
その他	251																																																																																				
繰延税金資産小計	6,678																																																																																				
評価性引当額	1,453																																																																																				
繰延税金資産合計	5,224																																																																																				
繰延税金負債																																																																																					
その他有価証券評価差額金	2,403																																																																																				
前払年金費用	861																																																																																				
繰延税金負債合計	3,264																																																																																				
繰延税金資産の純額	1,959																																																																																				
繰延税金資産	百万円																																																																																				
賞与引当金	1,345																																																																																				
退職給付引当金	913																																																																																				
投資有価証券評価減	417																																																																																				
関係会社株式評価減	247																																																																																				
ゴルフ会員権評価減	212																																																																																				
減価償却超過額	171																																																																																				
時効後支払損引当金	166																																																																																				
子会社株式売却損	148																																																																																				
未払事業税	110																																																																																				
関係会社株式譲渡益	88																																																																																				
未払社会保険料	85																																																																																				
その他	274																																																																																				
繰延税金資産小計	4,183																																																																																				
評価性引当額	739																																																																																				
繰延税金資産合計	3,444																																																																																				
繰延税金負債																																																																																					
その他有価証券評価差額金	18																																																																																				
前払年金費用	804																																																																																				
繰延税金負債合計	822																																																																																				
繰延税金資産の純額	2,621																																																																																				
<p>2. 法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との差異の原因となった主な項目別の内訳</p> <table border="0"> <tr> <td>法定実効税率</td> <td style="text-align: right;">33.0%</td> </tr> <tr> <td>(調整)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>交際費等永久に損金に算入されない項目</td> <td style="text-align: right;">0.2%</td> </tr> <tr> <td>受取配当金等永久に益金に算入されない項目</td> <td style="text-align: right;">6.2%</td> </tr> <tr> <td>タックスヘイブン税制</td> <td style="text-align: right;">0.8%</td> </tr> <tr> <td>外国税額控除</td> <td style="text-align: right;">0.2%</td> </tr> <tr> <td>外国子会社からの受取配当に係る外国源泉税</td> <td style="text-align: right;">0.7%</td> </tr> <tr> <td>税率変更による期末繰延税金資産の減額修正</td> <td style="text-align: right;">0.4%</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td style="text-align: right;">0.4%</td> </tr> <tr> <td>税効果会計適用後の法人税等の負担率</td> <td style="text-align: right;">29.1%</td> </tr> </table>	法定実効税率	33.0%	(調整)		交際費等永久に損金に算入されない項目	0.2%	受取配当金等永久に益金に算入されない項目	6.2%	タックスヘイブン税制	0.8%	外国税額控除	0.2%	外国子会社からの受取配当に係る外国源泉税	0.7%	税率変更による期末繰延税金資産の減額修正	0.4%	その他	0.4%	税効果会計適用後の法人税等の負担率	29.1%	<p>2. 法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との差異の原因となった主な項目別の内訳</p> <table border="0"> <tr> <td>法定実効税率</td> <td style="text-align: right;">31.0%</td> </tr> <tr> <td>(調整)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>交際費等永久に損金に算入されない項目</td> <td style="text-align: right;">0.1%</td> </tr> <tr> <td>受取配当金等永久に益金に算入されない項目</td> <td style="text-align: right;">6.2%</td> </tr> <tr> <td>タックスヘイブン税制</td> <td style="text-align: right;">0.7%</td> </tr> <tr> <td>外国税額控除</td> <td style="text-align: right;">0.2%</td> </tr> <tr> <td>外国子会社からの受取配当に係る外国源泉税</td> <td style="text-align: right;">0.5%</td> </tr> <tr> <td>税率変更による期末繰延税金資産の減額修正</td> <td style="text-align: right;">-</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td style="text-align: right;">0.2%</td> </tr> <tr> <td>税効果会計適用後の法人税等の負担率</td> <td style="text-align: right;">25.7%</td> </tr> </table>	法定実効税率	31.0%	(調整)		交際費等永久に損金に算入されない項目	0.1%	受取配当金等永久に益金に算入されない項目	6.2%	タックスヘイブン税制	0.7%	外国税額控除	0.2%	外国子会社からの受取配当に係る外国源泉税	0.5%	税率変更による期末繰延税金資産の減額修正	-	その他	0.2%	税効果会計適用後の法人税等の負担率	25.7%																																												
法定実効税率	33.0%																																																																																				
(調整)																																																																																					
交際費等永久に損金に算入されない項目	0.2%																																																																																				
受取配当金等永久に益金に算入されない項目	6.2%																																																																																				
タックスヘイブン税制	0.8%																																																																																				
外国税額控除	0.2%																																																																																				
外国子会社からの受取配当に係る外国源泉税	0.7%																																																																																				
税率変更による期末繰延税金資産の減額修正	0.4%																																																																																				
その他	0.4%																																																																																				
税効果会計適用後の法人税等の負担率	29.1%																																																																																				
法定実効税率	31.0%																																																																																				
(調整)																																																																																					
交際費等永久に損金に算入されない項目	0.1%																																																																																				
受取配当金等永久に益金に算入されない項目	6.2%																																																																																				
タックスヘイブン税制	0.7%																																																																																				
外国税額控除	0.2%																																																																																				
外国子会社からの受取配当に係る外国源泉税	0.5%																																																																																				
税率変更による期末繰延税金資産の減額修正	-																																																																																				
その他	0.2%																																																																																				
税効果会計適用後の法人税等の負担率	25.7%																																																																																				
<p>3. 法人税等の税率の変更による繰延税金資産及び繰延税金負債の金額の修正</p> <p>「所得税法等の一部を改正する法律」（平成28年法律第15号）及び「地方税法等の一部を改正する等の法律」（平成28年法律13号）が平成28年3月29日に成立し、平成28年4月1日以降に開始する事業年度から法人税率等の引下げ等が行われることとなりました。これに伴い、繰延税金資産及び繰延税金負債の計算に使用する法定実効税率は従来の32%から31%となります。</p> <p>この税率変更による財務諸表に与える影響は軽微であります。</p>																																																																																					

セグメント情報等

前事業年度(自 平成27年4月1日 至 平成28年3月31日)

1. セグメント情報

当社は投資運用業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

2. 関連情報

(1) 製品・サービスごとの情報

当社の製品・サービス区分の決定方法は、損益計算書の営業収益の区分と同一であることから、製品・サービスごとの営業収益の記載を省略しております。

(2) 地域ごとの情報

売上高

本邦の外部顧客からの営業収益に区分した金額が損益計算書の営業収益の90%を超えるため、地域ごとの営業収益の記載を省略しております。

有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、地域ごとの有形固定資産の記載を省略しております。

(3) 主要な顧客ごとの情報

外部顧客からの営業収益のうち、損益計算書の営業収益の10%以上を占める相手先がないため、主要な顧客ごとの営業収益の記載を省略しております。

当事業年度(自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)

1. セグメント情報

当社は投資運用業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

2. 関連情報

(1) 製品・サービスごとの情報

当社の製品・サービス区分の決定方法は、損益計算書の営業収益の区分と同一であることから、製品・サービスごとの営業収益の記載を省略しております。

(2) 地域ごとの情報

売上高

本邦の外部顧客からの営業収益に区分した金額が損益計算書の営業収益の90%を超えるため、地域ごとの営業収益の記載を省略しております。

有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、地域ごとの有形固定資産の記載を省略しております。

(3) 主要な顧客ごとの情報

外部顧客からの営業収益のうち、損益計算書の営業収益の10%以上を占める相手先がないため、主要な顧客ごとの営業収益の記載を省略しております。

関連当事者情報

前事業年度(自 平成27年4月1日 至 平成28年3月31日)

1. 関連当事者との取引

(ア) 親会社及び法人主要株主等

該当はありません。

(イ) 子会社等

種類	会社等の名称又は氏名	所在地	資本金	事業の内容又は職業	議決権等の所有(被所有)割合	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額(百万円)	科目	期末残高(百万円)
関連会社	株式会社野村総合研究所	東京都千代田区	18,600 (百万円)	情報サービス業	(所有)直接20.8%	サービス・製品の購入	自社利用のソフトウェア開発の委託等(*1)	5,058	未払費用	279

(ウ) 兄弟会社等

種類	会社等の名称又は氏名	所在地	資本金	事業の内容又は職業	議決権等の所有(被所有)割合	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額(百万円)	科目	期末残高(百万円)
親会社の子会社	野村証券株式会社	東京都中央区	10,000 (百万円)	証券業		当社投資信託の募集の取扱及び売上の取扱ならびに投資信託に係る事務代行の委託等 役員の兼任	投資信託に係る事務代行手数料の支払(*2)	39,084	未払手数料	3,865
親会社の子会社	野村ファンド・リサーチ・アンド・テクノロジー株式会社	東京都中央区	400 (百万円)	投資顧問業		当社投資信託の運用委託	投資信託の運用に係る投資顧問料の支払(*3)	2,412	未払費用	669

(エ) 役員及び個人主要株主等

該当はありません。

(注) 1. 上記の金額のうち、取引金額には消費税等が含まれておらず、期末残高には消費税等が含まれております。

2. 取引条件及び取引条件の決定方針等

(*1) ソフトウェア開発については、調査・研究に要する費用や開発工数等を勘案し、総合的に決定しております。

(*2) 投資信託に係る事務代行手数料については、商品性等を勘案し総合的に決定しております。

(*3) 投資信託の運用に係る投資顧問料については、一般取引条件と同様に決定しております。

2. 親会社又は重要な関連会社に関する注記

(1) 親会社情報

野村ホールディングス㈱（東京証券取引所、名古屋証券取引所、シンガポール証券取引所、ニューヨーク証券取引所に上場）

(2) 重要な関連会社の要約財務諸表

当事業年度において、重要な関連会社は(株)野村総合研究所であり、その要約財務諸表は以下のとおりであります。

		(百万円)
		(株)野村総合研究所
流動資産合計		239,155
固定資産合計		324,634
流動負債合計		122,933
固定負債合計		55,456
純資産合計		385,400
売上高		352,003
税引前当期純利益		56,508
当期純利益		40,179

当事業年度(自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)

1. 関連当事者との取引

(ア) 親会社及び法人主要株主等

種類	会社等の名称	所在地	資本金	事業の内容	議決権等の所有 (被所有)割合	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額 (百万円)	科目	期末残高 (百万円)
親会社	野村ホールディングス株式会社	東京都中央区	594,492 (百万円)	持株会社	(被所有) 直接 100%	資産の賃貸借及び購入等 役員の兼任	資金の借入(*1)	24,500	短期借入金	-
							資金の返済	24,500		
							借入金利息の支払	17	未払費用	-

(イ) 子会社等

種類	会社等の名称	所在地	資本金	事業の内容	議決権等の所有 (被所有)割合	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額 (百万円)	科目	期末残高 (百万円)
関連会社	株式会社野村総合研究所	東京都千代田区	18,600 (百万円)	情報サービス業	-	サービス・製品の購入	自社利用ソフトウェア開発の委託等(*2)	787	未払費用	-

(ウ) 兄弟会社等

種類	会社等の名称	所在地	資本金	事業の内容	議決権等の所有 (被所有)割合	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額 (百万円)	科目	期末残高 (百万円)
----	--------	-----	-----	-------	--------------------	-----------	-------	---------------	----	---------------

親会社の子会社	野村証券株式会社	東京都中央区	10,000 (百万円)	証券業	-	当社投資信託の募集の取扱及び売出の取扱ならびに投資信託に係る事務代行の委託等 役員の兼任	投資信託に係る事務代行手数料の支払（*3）	33,019	未払手数料	4,486
---------	----------	--------	-----------------	-----	---	---	-----------------------	--------	-------	-------

(エ) 役員及び個人主要株主等

該当はありません。

(注) 1. 上記の金額のうち、取引金額には消費税等が含まれておらず、期末残高には消費税等が含まれております。

2. 取引条件及び取引条件の決定方針等

(*1) 資金の借入については、市場金利を勘案して利率を合理的に決定しております。

(*2) ソフトウェア開発については、調査・研究に要する費用や開発工数等を勘案し、総合的に決定しております。なお、株式会社野村総合研究所は、平成28年10月27日より関連当事者に該当しないこととなったため、取引金額は関連当事者であった期間について、期末残高は関連当事者でなくなった時点について記載しております。

(*3) 投資信託に係る事務代行手数料については、商品性等を勘案し総合的に決定しております。

2. 親会社又は重要な関連会社に関する注記

(1) 親会社情報

野村ホールディングス㈱（東京証券取引所、名古屋証券取引所、シンガポール証券取引所、ニューヨーク証券取引所に上場）

(2) 重要な関連会社の要約財務諸表

該当はありません。

1株当たり情報

前事業年度 (自 平成27年4月1日 至 平成28年3月31日)		当事業年度 (自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)	
1株当たり純資産額	20,377円23銭	1株当たり純資産額	16,867円41銭
1株当たり当期純利益	4,977円07銭	1株当たり当期純利益	4,977円49銭
潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載していません。		潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載していません。	
1株当たり当期純利益の算定上の基礎		1株当たり当期純利益の算定上の基礎	
損益計算書上の当期純利益	25,635百万円	損益計算書上の当期純利益	25,637百万円
普通株式に係る当期純利益	25,635百万円	普通株式に係る当期純利益	25,637百万円
普通株主に帰属しない金額の主要な内訳 該当事項はありません。		普通株主に帰属しない金額の主要な内訳 該当事項はありません。	
普通株式の期中平均株式数	5,150,693株	普通株式の期中平均株式数	5,150,693株

第2【その他の関係法人の概況】

1 名称、資本金の額及び事業の内容

< 更新後 >

(1) 受託者

(a) 名称	(b) 資本金の額 [*]	(c) 事業の内容
三井住友信託銀行株式会社 (再信託受託者：日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社)	342,037百万円	銀行法に基づき銀行業を営むとともに、金融機関の信託業務の兼営等に関する法律(兼営法)に基づき信託業務を営んでいます。

* 平成29年6月末現在

(2) 販売会社

(a) 名称	(b) 資本金の額 [*]	(c) 事業の内容
池田泉州TT証券株式会社	1,250百万円	「金融商品取引法」に定める第一種金融商品取引業を営んでいます。
株式会社SBI証券	48,323百万円	
極東証券株式会社	5,251百万円	
高木証券株式会社	11,069百万円	
第四証券株式会社	600百万円	
丸近証券株式会社	200百万円	
楽天証券株式会社	7,495百万円	
株式会社新生銀行	512,204百万円	銀行法に基づき銀行業を営んでいます。
三井住友信託銀行株式会社	342,037百万円	

* 平成29年6月末現在

独立監査人の監査報告書

平成29年8月4日

野村アセットマネジメント株式会社
取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員 公認会計士 岩部 俊夫
業務執行社員指定有限責任社員 公認会計士 森重 俊寛
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「ファンドの経理状況」に掲げられている野村ワールドリート通貨選択型ファンド（円コース）の平成28年12月20日から平成29年6月19日までの特定期間の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益及び剰余金計算書、注記表並びに附属明細表について監査を行った。

財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した監査に基づいて、独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に財務諸表に重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき監査を実施することを求めている。

監査においては、財務諸表の金額及び開示について監査証拠を入手するための手続が実施される。監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による財務諸表の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて選択及び適用される。財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、財務諸表の作成と適正な表示に関連する内部統制を検討する。また、監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての財務諸表の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

監査意見

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、野村ワールドリート通貨選択型ファンド（円コース）の平成29年6月19日現在の信託財産の状態及び同日をもって終了する特定期間の損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

利害関係

野村アセットマネジメント株式会社及びファンドと当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1. 上記は監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が別途保管しております。

2. XBRLデータは監査の対象には含まれていません。

[次へ](#)

独立監査人の監査報告書

平成29年8月4日

野村アセットマネジメント株式会社
取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員 公認会計士 岩部 俊夫
業務執行社員指定有限責任社員 公認会計士 森重 俊寛
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「ファンドの経理状況」に掲げられている野村ワールドリート通貨選択型ファンド（米ドルコース）の平成28年12月20日から平成29年6月19日までの特定期間の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益及び剰余金計算書、注記表並びに附属明細表について監査を行った。

財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した監査に基づいて、独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に財務諸表に重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき監査を実施することを求めている。

監査においては、財務諸表の金額及び開示について監査証拠を入手するための手続が実施される。監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による財務諸表の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて選択及び適用される。財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、財務諸表の作成と適正な表示に関連する内部統制を検討する。また、監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての財務諸表の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

監査意見

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、野村ワールドリート通貨選択型ファンド（米ドルコース）の平成29年6月19日現在の信託財産の状態及び同日をもって終了する特定期間の損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

利害関係

野村アセットマネジメント株式会社及びファンドと当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1. 上記は監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が別途保管しております。

2. XBRLデータは監査の対象には含まれていません。

[次へ](#)

独立監査人の監査報告書

平成29年8月4日

野村アセットマネジメント株式会社
取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員 公認会計士 岩部 俊夫
業務執行社員指定有限責任社員 公認会計士 森重 俊寛
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「ファンドの経理状況」に掲げられている野村ワールドリート通貨選択型ファンド（豪ドルコース）の平成28年12月20日から平成29年6月19日までの特定期間の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益及び剰余金計算書、注記表並びに附属明細表について監査を行った。

財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した監査に基づいて、独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に財務諸表に重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき監査を実施することを求めている。

監査においては、財務諸表の金額及び開示について監査証拠を入手するための手続が実施される。監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による財務諸表の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて選択及び適用される。財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、財務諸表の作成と適正な表示に関連する内部統制を検討する。また、監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての財務諸表の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

監査意見

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、野村ワールドリート通貨選択型ファンド（豪ドルコース）の平成29年6月19日現在の信託財産の状態及び同日をもって終了する特定期間の損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

利害関係

野村アセットマネジメント株式会社及びファンドと当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1. 上記は監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が別途保管しております。

2. XBRLデータは監査の対象には含まれていません。

[次へ](#)

独立監査人の監査報告書

平成29年8月4日

野村アセットマネジメント株式会社
取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員 公認会計士 岩部 俊夫
業務執行社員指定有限責任社員 公認会計士 森重 俊寛
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「ファンドの経理状況」に掲げられている野村ワールドリート通貨選択型ファンド（ブラジル・リアルコース）の平成28年12月20日から平成29年6月19日までの特定期間の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益及び剰余金計算書、注記表並びに附属明細表について監査を行った。

財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した監査に基づいて、独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に財務諸表に重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき監査を実施することを求めている。

監査においては、財務諸表の金額及び開示について監査証拠を入手するための手続が実施される。監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による財務諸表の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて選択及び適用される。財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、財務諸表の作成と適正な表示に関連する内部統制を検討する。また、監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての財務諸表の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

監査意見

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、野村ワールドリート通貨選択型ファンド（ブラジル・リアルコース）の平成29年6月19日現在の信託財産の状態及び同日をもって終了する特定期間の損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

利害関係

野村アセットマネジメント株式会社及びファンドと当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

- (注) 1. 上記は監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が別途保管しております。
2. XBRLデータは監査の対象には含まれていません。

[次へ](#)

独立監査人の監査報告書

平成29年6月5日

野村アセットマネジメント株式会社
取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 岩部俊夫指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 森重俊寛指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 櫻井雄一郎

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「委託会社等の経理状況」に掲げられている野村アセットマネジメント株式会社の平成28年4月1日から平成29年3月31日までの第58期事業年度の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書、重要な会計方針及びその他の注記について監査を行った。

財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した監査に基づいて、独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に財務諸表に重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき監査を実施することを求めている。

監査においては、財務諸表の金額及び開示について監査証拠を入手するための手続が実施される。監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による財務諸表の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて選択及び適用される。財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、財務諸表の作成と適正な表示に関連する内部統制を検討する。また、監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての財務諸表の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

監査意見

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、野村アセットマネジメント株式会社の平成29年3月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する事業年度の経営成績をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

-
- (注) 1. 上記は監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が別途保管しております。
2. XBRLデータは監査の対象には含まれていません。